

第108回 日本消化器内視鏡学会関東支部例会 プログラム



会 長：慶應義塾大学医学部外科学 教授 北 川 雄 光

会 場：シェーンバッハ・サボー

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-5

TEL：03-3261-8386

会 期：2019年(令和元年) 6月8日(土)・9日(日)

運 営 事 務 局

慶應義塾大学医学部外科学

〒160-8582 東京都新宿区信濃町35

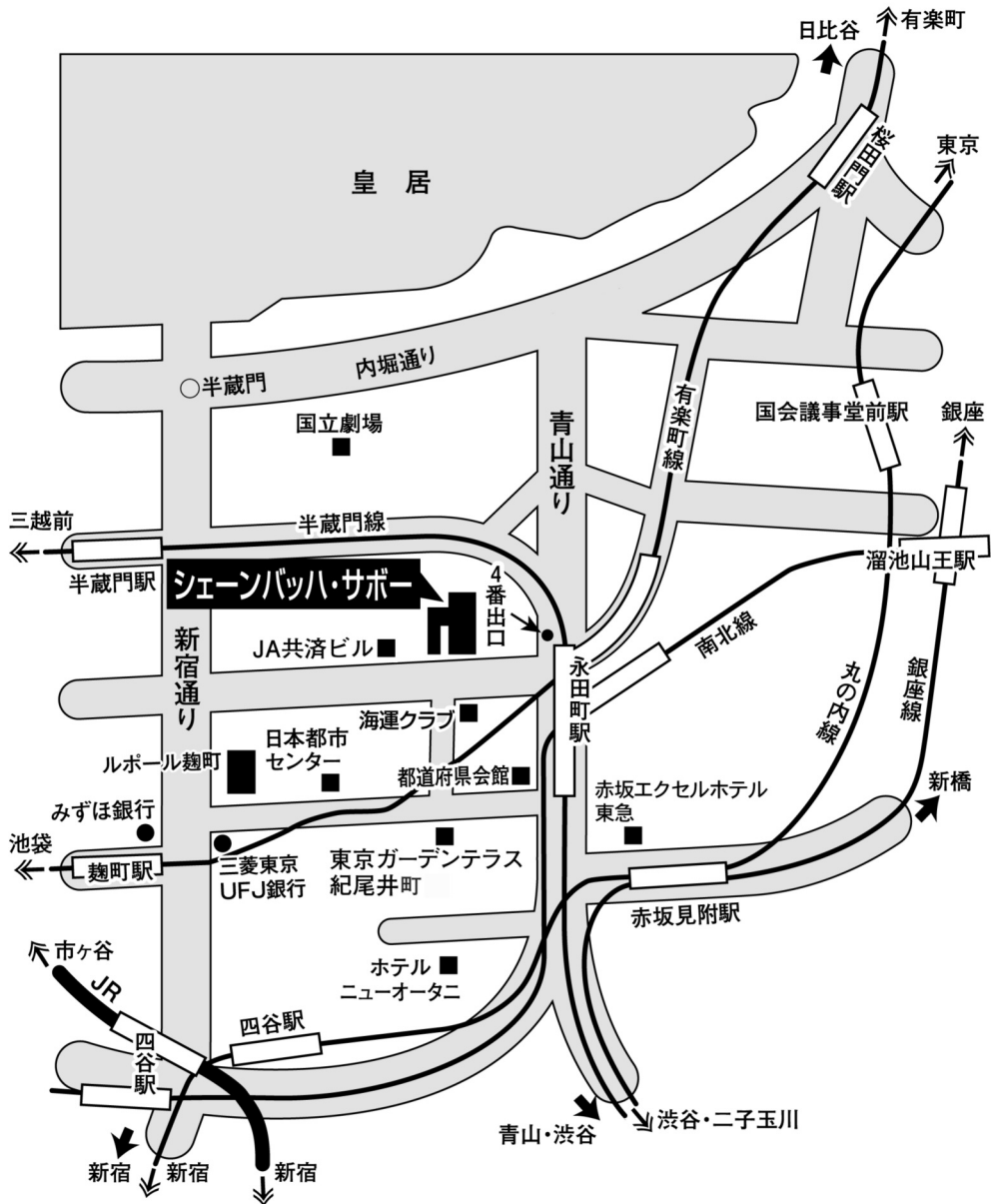
学会ホームページ <http://www.jges-k.umin.jp/>

第108回日本消化器内視鏡学会関東支部例会

プログラム委員 (敬称略、五十音順)

有馬美和子	埼玉県立がんセンター 内視鏡科
飯塚 敏郎	虎の門病院 消化器内科
伊佐山浩通	順天堂大学医学部 消化器内科
糸井 隆夫	東京医科大学 消化器内科
井上 晴洋	昭和大学江東豊洲病院 消化器センター
岩男 泰	慶應義塾大学病院 予防医療センター
浦岡 俊夫	群馬大学大学院医学系研究科内科学講座 消化器・肝臓内科学分野
緒方 晴彦	慶應義塾大学医学部内視鏡センター
岡野 直樹	東邦大学医療センター大森病院 消化器内科
小田 一郎	国立がん研究センター中央病院 内視鏡科
貝瀬 満	日本医科大学付属病院 消化器・肝臓内科
河合 隆	東京医科大学 消化器内視鏡学
川久保博文	慶應義塾大学医学部 一般・消化器外科
川田 研郎	東京医科歯科大学 消化管外科
熊谷 洋一	埼玉医科大学総合医療センター 消化管・一般外科
郷田 憲一	獨協医科大学 消化器内科
小田島慎也	帝京大学医学部 内科学講座
斎藤 彰一	がん研有明病院 消化器内科
斎藤 豊	国立がん研究センター中央病院 内視鏡科
田邊 聡	北里大学医学部 新世紀医療開発センター
中井 陽介	東京大学医学部 消化器内科
久松 理一	杏林大学医学部 第三内科学教室
藤崎 順子	がん研有明病院 消化器内科
矢野 友規	国立がん研究センター東病院 消化管内視鏡科
矢作 直久	慶應義塾大学腫瘍センター
山本 博徳	自治医科大学 内科学講座
吉永 繁高	国立がん研究センター中央病院 内視鏡科
良沢 昭銘	埼玉医科大学国際医療センター 消化器内科

交通案内図



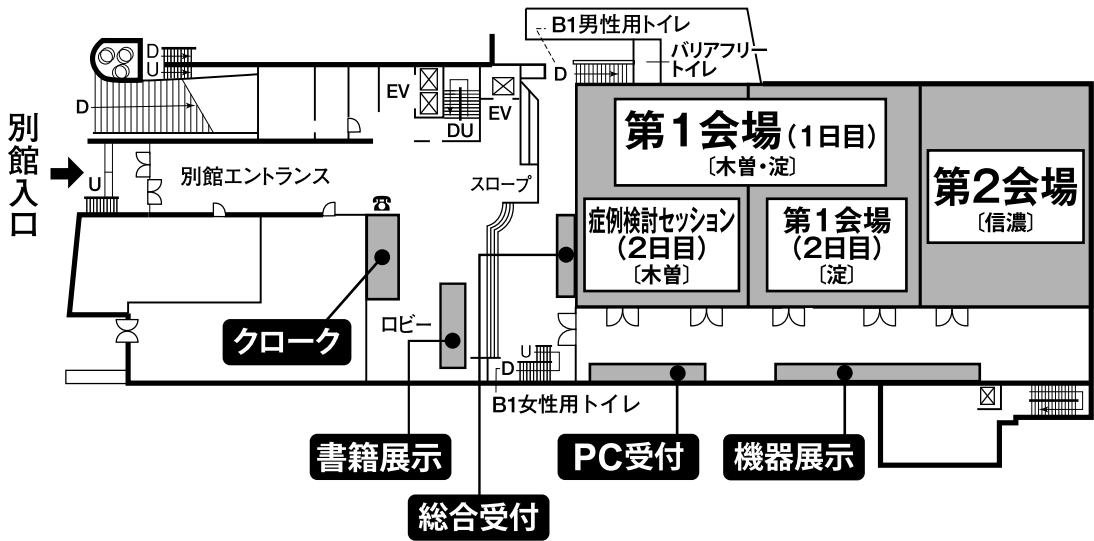
■交通のご案内

- 東京メトロ 麹町駅(有楽町線)半蔵門方面出口より徒歩約4分
- 東京メトロ 永田町駅(有楽町線)〈半蔵門線〉4番・5番出口より徒歩約4分
- 東京メトロ 永田町駅(南北線)9番出口より徒歩約3分
- 東京メトロ 赤坂見附駅(銀座線)〈丸の内線〉より徒歩約8分
- J R 四ッ谷駅 麹町出口より徒歩約14分
- 都 バ ス 都市センター前(新橋駅⇔市ヶ谷駅⇔大久保駅)

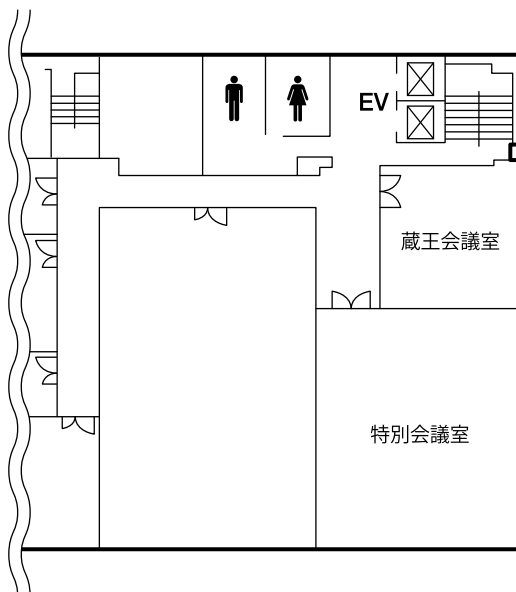
会場案内図

シェーンバッハ・サボア

■ 1階

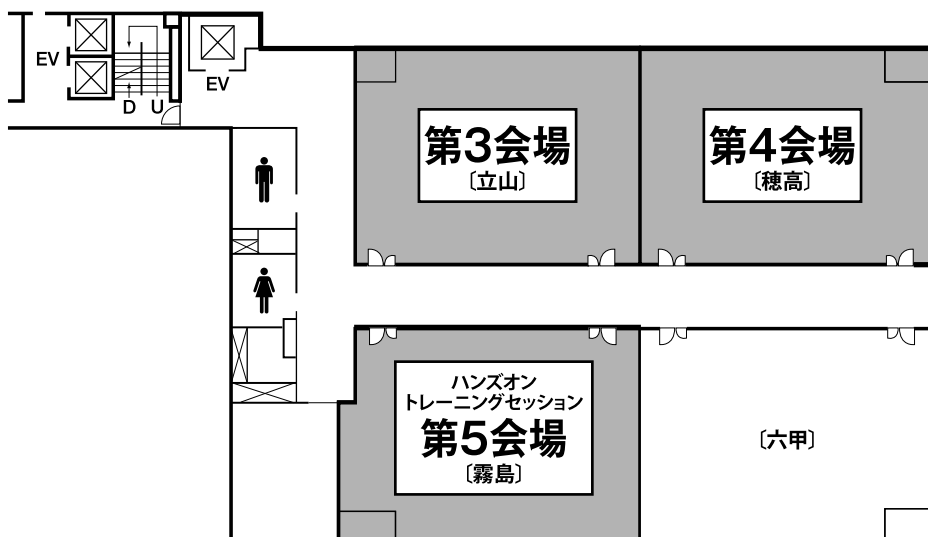


■ 2階



会場案内図

■ 3階



参加者の皆様へ

I 参加登録

1. 参加費として医師・一般の方は5,000円を参加受付でお支払いください。
初期研修医の方は、1,000円を参加受付でお支払いください。
医学部生は無料です。(当日受付にて学生証の提示を行ってください)
参加費お支払後、ネームカードをお渡ししますので、所属・氏名をご記入の上、会場内では常時ご着用いただきますようお願いいたします。
2. クレジットカードは使用できません。
3. 演者(共同演者を含む)は、日本消化器内視鏡学会の会員に限ります。
4. 抄録集の購入をご希望の方は受付にて1,000円で販売いたします。
5. 参加受付は、8:30より以下の場所で行います。
6月8日(土)、9日(日) シェーンバッハ・サボー 1階ロビー

II 出席単位登録について

1. 日本消化器内視鏡学会ホームページより大会の出席単位登録をすることが可能です。
ネームカード(参加証)の15桁の出席番号をご登録ください。専門医、指導医の申請・更新時に必要になります。
詳しくは、日本消化器内視鏡学会ホームページをご参照ください。
URL <https://www.jges.net/>
2. 取得できる単位数
出席・5単位 / 筆頭演者・3単位 / 共同演者・2単位
※オンラインによる出席単位登録をされない方は本カードが資格申請・更新に必要な
なります。

III 機器・書籍展示

シェーンバッハ・サボーの1階にて開催しております。

IV ランチョンセミナー

整理券方式は採用いたしませんので、予めご了承ください。

V 症例検討セッション

6月9日(日)に症例検討セッション会場(シェーンバッハ・サボー 1階「木曾」)にて、アンサーパッドを使用したセッションを実施いたします。アンサーパッドは会場入口にて配布いたしますが、数に限りがございますことをご了承ください。

演者・座長の皆様へ

I 発表に関する注意

発表は、コンピュータープレゼンテーションとなります。

以下の要領に従ってご準備ください。

- 1) 一般演題の発表時間は5分、討論時間は3分です。研修医・専修医セッションの発表時間は5分、討論時間は2分です。シンポジウム、パネルディスカッション、ビデオワークショップの発表時間は、演者へ個別に連絡いたします。必ず時間厳守でお願いいたします。
- 2) 発表データは、原則としてUSBフラッシュメモリーで提出をお願いいたします。バックアップ用としてPC本体をご持参いただければ万全です。
 - ・データは主催者側で一旦コピーいたしますが、学会終了後、責任を持って消去いたします。
 - ・動画の使用は可能ですが、使用するソフトはWindows Media Playerで再生可能な形式に限ります。
- 3) 発表データは発表の1時間前(早朝の場合は30分前)までに、PC受付で動作確認の上、提出してください。
- 4) 会場で使用するPCは以下の仕様となっております。
 - ① OS：Windows 10
 - ※Macintoshでデータを作成された場合は、PC本体をご持参ください。
 - ② アプリケーション：Microsoft PowerPoint 2013, 2016
 - ※スライド作成時の注意
 - スライド作成時の画面サイズはXGA (1024×768) をご確認の上、作成してください。PowerPoint画面のメニューにて「スライドショー」→「解像度」で設定できます。
 - フォントは文字化けを防ぐため、以下のフォントを推奨いたします。
 - ・日本語：MSゴシック、MSPゴシック、MS明朝、MSP明朝
 - ・英語：Century、Century Gothic
- 5) PC本体でご発表の際、会場での接続コネクタはMini D-sub 15pinタイプです。一部の機種で変換コネクタがないと接続出来ない機種があります。変換コネクタが必要な機種をご使用の場合は、ご自身で必ずご持参ください。また、バッテリー切れに備えて、ACアダプタをご自身で必ずご持参ください。
- 6) 演者は前の演者の口演開始後、速やかに次演者席についてお待ちください。
- 7) 司会・座長の先生は、担当セッションの開始10分前までに、次座長席にお越しくください。会の進行上、時間厳守でお願いいたします。
- 8) 発表にあたっては本学会用語集を参照し適切な用語を用いてください。(適切な用語を用いることは発表者の責務です)

II 利益相反 (COI) 状態開示のお願い

日本消化器内視鏡学会では、すべての臨床研究に係る産学連携活動において、個人が深く関与することに関連し生じる利益相反 (conflict of interest : COI) 状態を組織として適切に管理する必要性から、本学会における『臨床研究の利益相反に関する指針及び細則』を規定しております。関東支部においてもこの指針および細則が適用されます。

つきましては、発表・講演の際には、過去3年間に於けるCOI状態を自己申告して頂きます。関東支部ホームページ (<http://www.jges-k.umin.jp/coi.html>) で、申告事項および基準をご確認の上、所定書式をダウンロードしてお使いください。

・申告すべきCOI状態が「有」の場合

様式1-A

日本消化器内視鏡学会
COI 開示

発表者名(全員記載): ○○ ○○、○○ ○○、…(◎発表責任者)

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業等として

①顧問:	例: なし or あり(●●製薬)
②株保有・利益:	なし
③特許使用料:	なし
④講演料:	なし
⑤原稿料:	なし
⑥受託研究・共同研究費:	あり(●●製薬)
⑦奨学寄付金:	あり(●●製薬)
⑧寄附講座所属:	あり(●●製薬)
⑨研究とは直接無関係なものの提供:	なし

・申告すべきCOI状態が「無」の場合

様式1-B

日本消化器内視鏡学会
COI 開示

発表者名(全員記載): ○○ ○○、○○ ○○、…(◎発表責任者)

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などはありません。

「有」の発表者と講演セミナーの講師は申告書もご提出ください。

* 申告書提出先

- (1) 事前にご提出いただく場合は、5月31日(金)までに、第108回例会運営事務局(サンプラネット)まで、FAXまたはメールにてご提出ください。

株式会社サンプラネット メディカルコンベンション事業部

FAX: 03-3942-6396 E-mail: jgeskanto108@sunpla-mcv.com

(E-mail提出の場合は、署名・捺印したものをpdfまたはjpgのファイルにして、E-mailの題名を「COI自己申告」としてお送りください。)

- (2) 例会当日にご提出いただく場合は、PC受付にご提出ください。

Ⅲ 表彰式

6月8日（土）17：05～ 第1会場（シェーンバッハ・サポール 1階「木曾・淀」）において
研修医・専修医セッション表彰式を行います。

研修医（初期研修医）および専修医（後期研修医）が筆頭演者の演題のうち、優れた5演
題を選出し表彰いたします。受賞者には奨励金として3万円を贈呈いたします。

また、筆頭演者は翌年春の日本消化器内視鏡学会総会へ招待されます。（学会参加費、交
通費、宿泊費等は日本消化器内視鏡学会が負担します）

第 1 日 令和元年 6 月 8 日 (土)

	第 1 会場 1F【木曾・淀】	第 2 会場 1F【信濃】	第 3 会場 3F【立山】	第 4 会場 3F【穂高】	第 5 会場 3F【霧島】
9:00	開会の辞(8:55~9:00)				
10:00	9:00~11:30 シンポジウム1 「日常臨床に役立つ画像 強調内視鏡診断法」	9:00~11:30 パネルディスカッション1 「消化管腫瘍性狭窄に 対する治療法」	9:00~9:35 専修医セッション 食道 (1~5) 9:35~9:56 専修医セッション 胃 (6~8) 9:56~10:17 専修医セッション 胃・十二指腸 (9~11) 10:17~10:45 専修医セッション 小腸 (12~15)	9:00~9:28 研修医セッション 大腸1 (35~38) 9:28~9:56 研修医セッション 大腸2 (39~42) 9:56~10:24 研修医セッション 十二指腸・大腸 (43~46)	9:00~12:00 ハンズオン トレーニング セッション 胃ESDコース
11:00			10:50~11:30 教育レクチャー1 中外製薬株式会社		
12:00	12:00~13:00 ランチョンセミナー1 日本イーライリリー株式会社	12:00~13:00 ランチョンセミナー2 コヴィディエンジャパン株式会社	12:00~13:00 ランチョンセミナー3 大鵬薬品工業株式会社	12:00~13:00 ランチョンセミナー4 武田薬品工業株式会社	
13:00					
14:00	13:20~15:50 ビデオワークショップ1 「ESD困難症例に 対する工夫」	13:20~15:50 パネルディスカッション2 「IBD関連腫瘍の診断 および治療の現状と展望」	13:20~13:48 専修医セッション 大腸1 (16~19) 13:48~14:16 専修医セッション 大腸2 (20~23) 14:16~14:37 専修医セッション 大腸3 (24~26) 14:37~15:05 専修医セッション 胆道 (27~30) 15:05~15:33 専修医セッション 胆道・膵臓 (31~34)	13:20~13:55 研修医セッション 食道・胃 (47~51) 13:55~14:23 研修医セッション 胆道 (52~55) 14:23~14:44 研修医セッション 肝臓 (56~58)	13:00~16:00 ハンズオン トレーニング セッション 食道ESDコース
15:00					
16:00	16:00~17:00 特別講演				
17:00	研修医・専修医表彰式 17:20~18:00 評議員会				
18:00					
19:00	18:30~20:00 サテライトセミナー1 オリンパスメディカル サイエンス販売株式会社	18:30~20:00 サテライトセミナー2 富士フィルムメディカル 株式会社	18:30~20:00 評議員懇親会 (海運クラブ)		
20:00					

第 2 日 令和元年 6 月 9 日 (日)

	症例検討セッション会場 1F【木曽】	第 1 会場 1F【淀】	第 2 会場 1F【信濃】	第 3 会場 3F【立山】	第 4 会場 3F【穂高】	第 5 会場 3F【霧島】
9:00	9:00~10:30 症例検討セッション 「食道」					
10:00		9:30~12:00 シンポジウム2 「消化器癌内視鏡 検診の実際と今後」	9:30~12:00 ビデオワークショップ2 「ERCP,EUSの トラブルシューティング」	9:30~10:02 一般演題 胃 1 (59~62)	9:30~10:02 一般演題 大腸 1 (93~96)	9:00~12:00 ハンズオン トレーニング セッション 大腸ESDコース
11:00	10:30~12:00 症例検討セッション 「胃・十二指腸」			10:02~10:34 一般演題 胃 2 (63~66)	10:02~10:34 一般演題 大腸 2 (97~100)	
				10:34~11:14 一般演題 食道・胃 (67~71)	10:34~11:14 一般演題 大腸 3 (101~105)	
				11:14~11:46 一般演題 食道 (72~75)	11:14~11:46 一般演題 大腸 4 (106~109)	
12:00						
13:00		12:10~13:10 ランチョンセミナー5 アストラゼネカ株式会社 /第一三共株式会社	12:10~13:10 ランチョンセミナー6 ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社	12:10~13:10 ランチョンセミナー7 小野薬品工業株式会社 /アストル・マヤーズスクイブ株式会社	12:10~13:10 ランチョンセミナー8 EAファーマ株式会社 /持田製薬株式会社	
14:00	13:20~14:50 症例検討セッション 「下部消化管」	13:20~14:00 教育レクチャー2 旭化成ファーマ株式会社				13:20~16:20 ハンズオン トレーニング セッション EUS-FNAコース
15:00	14:50~16:20 症例検討セッション 「胆道」	14:00~16:30 パネルディスカッション3 「上部消化管における 同時性・異時性多発癌 早期発見のための スクリーニング・サーベイランス法」	14:00~16:20 シンポジウム3 「内視鏡を用いた 外科と内科の コラボレーション治療」	14:00~14:40 一般演題 胆道・膵臓 (76~80)		
				14:40~15:12 一般演題 胆道・膵臓・十二指腸 (81~84)		
				15:12~15:44 一般演題 十二指腸・小腸 (85~88)		
16:00				15:44~16:16 一般演題 小腸 (89~92)		
17:00		閉会の辞				
18:00						
19:00						

特別講演 6/8 (土) 第 1 会場 16:00~17:00

司会 慶應義塾大学医学部外科学 北川 雄光

ミクロ観察に挑戦する消化器内視鏡学： 潰瘍性大腸炎の粘膜治癒観察から

慶應義塾大学医学部 内科学（消化器）

金井 隆典

シンポジウム 1 6/8 (土) 第 1 会場 9:00~11:30

「日常臨床に役立つ画像強調内視鏡診断法」

司会 がん研有明病院 消化器内科

北里大学医学部 新世紀医療開発センター

齋藤 彰一

田邊 聡

S1-01. 喉頭病変の癌・非癌の鑑別診断におけるNBI拡大内視鏡観察の有用性

北里大学医学部 耳鼻咽喉科頭頸部外科¹⁾ ○細野 浩史¹⁾, 堅田 親利²⁾, 田邊 聡²⁾
同 消化器内科²⁾ 一戸 昌明³⁾, 山下 拓¹⁾
同 病理学³⁾

S1-02. 画像強調・経鼻内視鏡を用いた食道癌ハイリスク例における上部消化管スクリーニング

東京医科歯科大学 消化管外科 ○山口 和哉, 川田 研郎, 中島 康晃
東海林 裕, 絹笠 祐介

S1-03. *H. pylori* 除菌後胃癌の発見率向上に向けたlinked color imagingの有用性

千葉県がんセンター 内視鏡科¹⁾ ○北川 善康¹⁾, 南金山理乃¹⁾, 鈴木 拓人¹⁾
同 消化器内科²⁾ 山口 武人²⁾

S1-04. 分化型優位組織混在型早期胃癌の診断におけるNBI併用拡大内視鏡の有用性

がん研有明病院 消化器内科 ○渡海 義隆, 堀内 裕介, 藤崎 順子

S1-05. 表在性非乳頭部十二指腸上皮性腫瘍におけるNBI併用拡大内視鏡観察の有用性について

虎の門病院 消化器内科(胃腸)¹⁾ ○岡本 陽祐^{1, 2)}, 菊池 大輔¹⁾, 布袋屋 修¹⁾
東邦大学医療センター大森病院 消化器センター内科²⁾ 井下 尚子³⁾, 飯塚 敏郎¹⁾
虎の門病院 病理診断科³⁾

S1-06. 内視鏡所見と組織学的所見を用いた表在性非乳頭部十二指腸腫瘍における乳白色調粘膜の臨床病理学的検討

東京慈恵会医科大学 内視鏡医学講座¹⁾ ○原 裕子¹⁾, 土橋 昭¹⁾, 炭山 和毅¹⁾
獨協医科大学 内科学(消化器)講座²⁾ 郷田 憲一²⁾

S1-07. スコアリングを用いた表在性非乳頭部十二指腸上皮性腫瘍の診断の有用性の検討

NTT東日本関東病院 消化器内科 ○石井 鈴人, 大圃 研, 酒井 英嗣
村元 喬, 松橋 信行

S1-08. 大腸平坦陥凹性病変の非拡大内視鏡観察における視認性の検討

国立がん研究センター東病院 消化管内視鏡科¹⁾ ○西原圭一郎¹⁾, 池松 弘朗¹⁾, 新村 健介¹⁾
沖縄県立中部病院 消化器内科²⁾ 中村 弘^{1, 2)}, 矢野 友規¹⁾

S1-09. 大腸腫瘍性病変に対するJNET分類の有用性について

がん研有明病院 消化器内科内視鏡診療部¹⁾ ○池之山洋平¹⁾, 斎藤 彰一¹⁾, 井出 大資¹⁾
同 病理部²⁾ 千野 晶子¹⁾, 河内 洋²⁾

S1-10. 日常臨床におけるEndocytoscopyを用いた診断能の検討

国立がん研究センター中央病院 内視鏡科¹⁾ ○高丸 博之¹⁾, 斎藤 豊¹⁾, 坂本 琢¹⁾
同 検診センター²⁾ 山田 真善¹⁾, 松田 尚久²⁾

S1-11. 人工知能による大腸病変の検出支援

昭和大学横浜市北部病院 消化器センター¹⁾ ○阿部 正洋¹⁾, 工藤 進英¹⁾, 三澤 将史¹⁾
名古屋大学大学院 情報学研究科²⁾ 森 悠一¹⁾, 森 健策²⁾

シンポジウム2 6/9 (日) 第1会場 9:30~12:00

「消化器癌内視鏡検診の実際と今後」

司会 東京医科大学 消化器内視鏡学 河合 隆
慶應義塾大学医学部 内視鏡センター 緒方 晴彦

S2-基調講演. 茨城県水戸市胃内視鏡検診の現状と精度管理

茨城県メディカルセンター 消化器・内視鏡センター¹⁾ ○齋藤 洋子^{1,2)}
水戸市医師会²⁾

S2-01. 任意型内視鏡検診による発見胃癌の時代的変遷

国立がん研究センター中央病院 検診センター¹⁾ ○中村 佳子^{1,2)}, 角川 康夫^{1,2)}, 関口 正宇^{1,2)}
同 内視鏡科²⁾ 斎藤 豊²⁾, 松田 尚久^{1, 2)}

S2-02. 胃がん検診における血清抗*Helicobacter pylori* 抗体価検査の可能性

東京慈恵会医科大学 総合健診・予防医学センター 新橋健診センター ○伊藤 恭子, 小林 寛子, 常喜 眞理
加藤 智弘

S2-03. 板橋区胃がん検診 (内視鏡検査) におけるクラウド方式による2次読影システムの導入

板橋区医師会 ○矢郷 祐三, 安田 武史, 小林 匡
太田 昭彦

S2-04. 千葉県内8市共通の対策型胃内視鏡検診開始前画質テストの現況

公益財団法人ちば県民保健予防財団 総合健診センター 消化器内科 ○山口 和也, 中川 由紀, 稲田 麻里

S2-基調講演. 大腸内視鏡検診導入に向けて

松島病院大腸肛門病センター・松島クリニック ○鈴木 康元

S2-05. 群馬県の大腸がん検診の現状と内視鏡検診導入の必要性

群馬県健康づくり財団¹⁾ ○茂木 文孝¹⁾, 萩原 廣明²⁾, 浦岡 俊夫³⁾
前橋市医師会²⁾
群馬大学大学院医学系研究科内科学講座 消化器・肝臓内科学分野³⁾

S2-06. 下部消化管内視鏡検査時における腸管前処置薬の比較検討

がん研有明病院 下部消化管内科 ○石岡 充彬, 斎藤 彰一, 井出 大資
千野 晶子, 五十嵐正広

S2-07. スクリーニング大腸内視鏡検査におけるUPDの有用性

東京医科大学 消化器内視鏡学分野¹⁾ ○柳澤 京介¹⁾, 河合 隆¹⁾, 植松 淳一¹⁾
同 消化器内科²⁾ 福澤 誠克²⁾, 糸井 隆夫²⁾

S2-08. 大腸カプセル内視鏡による大腸スクリーニング検査の現状

虎の門病院 消化器内科¹⁾ ○早坂淳之介¹⁾, 松井 啓¹⁾, 野村 浩介¹⁾
同 健康管理センター²⁾ 荒木 昭博²⁾, 布袋屋 修¹⁾

シンポジウム 3 6/9 (日) 第 2 会場 14:00~16:20

「内視鏡を用いた外科と内科のコラボレーション治療」

司会 昭和大学江東豊洲病院 消化器センター 井上 晴洋
慶應義塾大学医学部 一般・消化器外科 川久保博文

S3-基調講演. LECSは胃局所切除の定型手技となるか？

北里大学医学部 上部消化管外科学 ○比企 直樹

S3-01. 頸部食道癌に対するEndoscopic laryngo-pharyngeal surgery(ELPS)を併用した 喉頭温存手術

国立がん研究センター中央病院 内視鏡科¹⁾ ○阿部清一郎¹⁾, 吉永 繁高¹⁾, 鈴木 晴久¹⁾
同 食道外科²⁾ 小田 一郎¹⁾, 大幸 宏幸²⁾

S3-02. 食道胃接合部上の粘膜下腫瘍に対するLECSの検討

慶應義塾大学医学部 一般・消化器外科 ○青山 純也, 眞柳 修平, 入野 誠之
福田 和正, 中村理恵子, 和田 則仁
川久保博文, 北川 雄光

S3-03. 当院における胃粘膜下腫瘍に対するCLEAN-NET(Combination of Laparoscopic and Endoscopic Approaches to Neoplasia)の治療成績

昭和大学江東豊洲病院 消化器センター ○鬼丸 学, 井上 晴洋, 池田 晴夫
伊藤 寛晃, 横山 登

S3-04. 当院における胃GISTに対する腹腔鏡内視鏡合同手術の現状

東海大学医学部 消化器外科¹⁾ ○鍋島 一仁¹⁾, 中村 健司¹⁾, 小柳 和夫¹⁾
同 消化器内科²⁾ 鈴木 孝良²⁾, 小澤 壯治¹⁾

S3-05. 胃・十二指腸上皮性腫瘍に対する当院の治療戦略

慶應義塾大学医学部 腫瘍センター低侵襲療法研究開発部門¹⁾ ○飽本 哲兵¹⁾, 加藤 元彦¹⁾, 川久保博文²⁾
同 一般・消化器外科²⁾ 北川 雄光²⁾, 矢作 直久¹⁾

S3-06. 当院における大腸腫瘍に対する腹腔鏡内視鏡合同手術 (Laparoscopic Cooperative surgery-colorectal; LECS-CR) の治療成績

がん研有明病院 消化器内科¹⁾ ○鈴木 桂悟¹⁾, 安江 千尋¹⁾, 斎藤 彰一¹⁾
同 大腸外科²⁾ 福長 洋介²⁾

パネルディスカッション 1 6/8 (土) 第2会場 9:00~11:30

「消化管腫瘍性狭窄に対する治療法」

司会 東京医科歯科大学 消化管外科 川田 研郎
国立がん研究センター東病院 消化管内視鏡科 矢野 友規

PD1-01. 瘻孔を有する食道悪性狭窄に対するステント留置術の治療成績

がん研有明病院 ○玉城 温子, 由雄 敏之, 佐々木 隆

PD1-02. 当科における食道ステントの安全性と有効性について

東京医科歯科大学医学部附属病院 食道外科¹⁾ ○松井 俊大¹⁾, 川田 研郎¹⁾, 東海林 裕¹⁾
同 大腸肛門外科²⁾ 中島 康晃¹⁾, 絹笠 祐介²⁾

PD1-03. 食道悪性狭窄に対するself-expanding metallic stent (SEMS) 留置の長期成績

国立がん研究センター東病院 ○奥村 圭, 佐藤 大幹, 高島 健司
依田 雄介, 矢野 友規

PD1-04. 進行食道癌に対するステント療法の治療成績

がん・感染症センター都立駒込病院 食道外科¹⁾ ○三浦 昭順¹⁾, 千葉 哲磨¹⁾, 鈴木 邦士¹⁾
同 内視鏡科²⁾ 久米雄一郎¹⁾, 門馬久美子²⁾

PD1-05. 食道癌狭窄に対する治療としての食道バイパス手術

埼玉医科大学国際医療センター 消化器外科 ○藤原 直人, 宮脇 豊, 梶田 浩文
佐藤 弘, 桜本 信一

PD1-06. 当院における悪性胃十二指腸狭窄に対する胃十二指腸ステント留置法の検討

昭和大学藤が丘病院 消化器内科 ○新谷 文崇, 高野 祐一, 山村 詠一
長濱 正亞, 小林 孝弘

PD1-07. 輸入脚症候群に対するEUS下胃空腸瘻孔形成術(EUS-guided gastroenterostomy)によるドレナージの有用性

国立がん研究センター中央病院 肝胆膵内科 ○谷本 泉, 脇岡 範, 永塩 美邦
大場 彬博, 斎藤 豊

PD1-08. 当院における閉塞性大腸癌に対する経肛門イレウス管と比較した大腸ステント留置術の検討

戸田中央総合病院 消化器内科 ○村松 孝洋, 山本 圭, 岸本 佳子
堀部 俊哉, 原田 容治

PD1-09. 当院における大腸ステントの治療成績

国保旭中央病院 消化器内科 ○西原 弘嗣, 宮川 明祐, 糸林 詠
紫村 治久, 志村 謙次

パネルディスカッション2 6/8 (土) 第2会場 13:20~15:50

「IBD関連腫瘍の診断および治療の現状と展望」

司会 慶應義塾大学病院 予防医療センター 岩男 泰
群馬大学大学院医学系研究科内科学講座 消化器・肝臓内科学分野 浦岡 俊夫

PD2-01. 拡大内視鏡観察が存在診断に有用であったUC関連腫瘍の1例

北里大学医学部 消化器内科学¹⁾ ○別當 朋広¹⁾, 佐田 美和¹⁾, 小林 清典²⁾
同 新世紀医療開発センター²⁾

PD2-02. 全大腸炎型潰瘍性大腸炎の長期罹患経過観察中に直腸進行癌を発症した1例

がん研有明病院 消化器内科¹⁾ ○屋嘉比聖一¹⁾, 斎藤 彰一¹⁾, 井出 大資¹⁾
同 病理部²⁾ 千野 晶子¹⁾, 河内 洋²⁾

PD2-03. 内視鏡的粘膜下層剥離術が有用であった潰瘍性大腸炎関連腫瘍の一例

国立病院機構東京医療センター 消化器科¹⁾ ○平井悠一郎¹⁾, 伴野 繁雄²⁾, 和田 道子¹⁾
医療法人財団中山会八王子消化器病院 消化器内科²⁾ 木下 聡¹⁾, 浦岡 俊夫³⁾
群馬大学大学院医学系研究科内科学講座 消化器・肝臓内科学分野³⁾

PD2-04. PSC合併腸炎における大腸腫瘍の検討

東京大学医学部 腫瘍外科 ○岡田 聡, 畑 啓介, 野澤 宏彰
川合 一茂, 石原聡一郎

PD2-05. 潰瘍性大腸炎関連腫瘍における内視鏡的切除術の有用性

東京女子医科大学 消化器内科¹⁾ ○米沢麻利亞¹⁾, 伊藤亜由美¹⁾, 大森 鉄平¹⁾
同 消化器内視鏡科²⁾ 中村 真一²⁾, 徳重 克年¹⁾

PD2-06. 市中中核病院における潰瘍性大腸炎患者の大腸腫瘍性病変に対する内視鏡治療の実際

横浜市立市民病院 消化器内科¹⁾ ○諸星 雄一¹⁾, 星 瞳¹⁾, 小池 裕司¹⁾
同 炎症性腸疾患科²⁾ 杉田 昭²⁾, 小松 弘一¹⁾

PD2-07. 高齢者に発症した潰瘍性大腸炎関連腫瘍の1例

伊勢崎市民病院 内科¹⁾ ○増尾 貴成¹⁾, 小坂橋佑輔¹⁾, 石原 眞悟¹⁾
群馬大学大学院 消化器・肝臓内科学²⁾ 関口 雅則¹⁾, 浦岡 俊夫²⁾

PD2-08. 潰瘍性大腸炎患者の表面型腫瘍に対する大腸ESDの治療成績の検討

国立がん研究センター中央病院 内視鏡科 ○春日 健吾, 山田 真善, 高丸 博之
坂本 琢, 斉藤 豊

PD2-09. 潰瘍性大腸炎罹患粘膜に発生した腫瘍性病変に対するESDの検討

東京医科歯科大学医学部附属病院 光学医療診療部¹⁾ ○福田 将義¹⁾, 永石 宇司²⁾, 根木真理子³⁾
同 消化器内科²⁾ 大塚 和朗¹⁾, 渡辺 守²⁾
同 病理部³⁾

PD2-10. 潰瘍性大腸炎関連腫瘍に対する内視鏡治療例の検討

慶應義塾大学医学部 消化器内科¹⁾ ○萩原 裕也¹⁾, 岩男 泰²⁾, 長沼 誠¹⁾
慶應義塾大学病院 予防医療センター²⁾ 矢作 直久³⁾, 金井 隆典¹⁾
慶應義塾大学医学部 腫瘍センター³⁾

パネルディスカッション3 6/9(日) 第1会場 14:00~16:30

「上部消化管における同時性・異時性多発癌早期発見のためのスクリーニング・サーベイランス法」

司会 獨協医科大学 消化器内科

郷田 憲一

日本医科大学付属病院 消化器・肝臓内科

貝瀬 満

PD3-01. 食道咽頭における同時異時性重複癌症例の後方視的検討

東京医科大学病院 消化器内科学分野¹⁾ ○山口 隼^{1, 2)}, 福澤 誠克¹⁾, 塚原 清彰³⁾
同 消化器内視鏡学分野²⁾ 河合 隆²⁾, 糸井 隆夫¹⁾
同 耳鼻咽喉科頭頸部外科学分野³⁾

PD3-02. 頭頸部癌患者に対する初回スクリーニング内視鏡検査におけるヨード色素内視鏡の意義に関する検討

東京慈恵会医科大学 内視鏡医学講座 ○古橋 広人, 土橋 昭, 原 裕子
小野 真吾, 炭山 和毅

PD3-03. 食道扁平上皮癌内視鏡治療例における同時性・異時性多発癌について

がん・感染症センター都立駒込病院 消化器内科¹⁾ ○梶原 有史¹⁾, 門馬久美子²⁾, 堀口慎一郎³⁾
同 内視鏡科²⁾
同 病理科³⁾

PD3-04. 男性の早期食道癌に対する内視鏡切除後の異時性食道癌の発生とMacrocytosisの関連

北里大学医学部 消化器内科学¹⁾ ○堅田 親利¹⁾, 横山 徹爾²⁾, 武藤 学³⁾
国立保健医療科学院 生涯健康研究部²⁾
京都大附属病院 腫瘍内科³⁾

PD3-05. 食道癌に重複発症した咽喉頭表在性扁平上皮癌の内視鏡下切除(ESD/ELPS)後予後の検討

国立がん研究センター東病院 消化管内視鏡科¹⁾ ○堀 圭介¹⁾, 依田 雄介¹⁾, 富岡 利文²⁾
同 頭頸部科²⁾ 藤井 誠志³⁾, 矢野 友規¹⁾
国立がん研究センター先端医療開発センター 臨床腫瘍病理分野³⁾

PD3-06. 表在型バレット食道腺癌の異時、同時多発病変の検討

がん研有明病院 内視鏡診療部 ○赤澤 直樹, 並河 健, 中野 薫
藤崎 順子

PD3-07. 初診医にて指摘しえなかった同時性胃癌/腺腫の検討

NTT東日本関東病院 消化器内科 ○小西 隆文, 瀧田麻衣子, 大圃 研
松橋 信行

PD3-08. 同時多発早期胃癌の特徴と内視鏡観察時の注意点

日本医科大学 消化器内科学 ○小泉英里子, 貝瀬 満, 後藤 修
岩切 勝彦

PD3-09. 胃癌の同時・異時多発癌の臨床的特徴

虎の門病院 ○田中 匡実, 菊池 大輔, 飯塚 敏郎
布袋屋 修

PD3-10. 胃上皮性腫瘍ESD後の異時性多発に関する臨床病理学的検討

獨協医科大学 内科学（消化器）講座 ○金森 瑛, 石川 睦, 阿部圭一郎
郷田 憲一, 入澤 篤志

PD3-11. ESDにて治癒の得られなかった早期胃癌ESD後異時性胃癌の特徴

国立がん研究センター中央病院 内視鏡科¹⁾ ○鈴木 晴久¹⁾, 阿部清一郎¹⁾, 小田 一郎¹⁾
同 胃外科²⁾ 吉川 貴己²⁾, 片井 均²⁾

ビデオワークショップ 1 6/8 (土) 第 1 会場 13:20~15:50

「ESD困難症例に対する工夫」

司会 国立がん研究センター中央病院 内視鏡科 小田 一郎
虎の門病院 消化器内科 飯塚 敏郎

VW1-01. 食道憩室内に伸展する表在型食道癌に対するESD

東京大学医学部附属病院 消化器内科 ○永尾 清香, 辻 陽介, 坂口 賀基
小池 和彦

VW1-02. 食道真性憩室近傍の食道表在癌に対しESDにて切除し得た1例

公益財団法人 がん研有明病院 ○土方 一範, 石山晃世志, 由雄 敏之
土田 知宏, 藤崎 順子

VW1-03. 食道胃接合部癌に対するdual knifeおよびIT knife nanoを使用したESDの治療成績 および手技の工夫

昭和大学藤が丘病院 消化器内科 ○五味 邦代, 東畑美幸子, 花村祥太郎
山本 頼正

VW1-04. 憩室を伴う大腸腫瘍に対するESDの妥当性

NTT東日本関東病院 消化器内科 ○村元 喬, 大圃 研, 松橋 信行

VW1-05. 憩室内伸展を伴う大腸腫瘍に対する糸付きclip併用ESDの有用性

横浜市立大学附属市民総合医療センター 内視鏡部¹⁾ ○池田 良輔¹⁾, 平澤 欣吾¹⁾, 小林 亮介¹⁾
横浜市立大学 消化器内科²⁾ 佐藤 知子¹⁾, 前田 慎²⁾

VW1-06. 胃穹隆部病変のESDに対するS-Oクリップの有用性

国立がん研究センター中央病院 内視鏡科 ○水口 康彦, 阿部清一郎, 野中 哲
鈴木 晴久, 小田 一郎

VW1-07. Pocket-creation methodによる幽門輪にかかる胃腫瘍に対するESDの有用性

自治医科大学内科学講座 消化器内科学部門 ○北村 昌史, 三浦 義正, 岩下ちひろ
竹澤 敬人, 山本 博徳

VW1-08. 潰瘍瘢痕合併例の胃ESDにおけるS-Oクリップの有用性

湘南藤沢徳洲会病院 内視鏡内科 ○永田 充

VW1-09. 胃ESDにおける内視鏡的手縫い技術の応用

日本医科大学 消化器内科学 ○樋口 和寿, 後藤 修, 貝瀬 満
岩切 勝彦

VW1-10. 術中出血部位同定困難に対する自己組織化ペプチド溶液の止血効果の試み

群馬大学医学部附属病院 消化器・肝臓内科 ○田中 寛人, 栗林 志行, 浦岡 俊夫

VW1-11. 残胃癌ESD時にナイフでpetzを抜去した8例の検討

虎の門病院 消化器内科 ○早坂淳之介, 菊地 大輔, 飯塚 敏郎
野村 浩介, 布袋屋 修

VW1-12. 抗血栓薬服用症例における胃ESD後2nd lookの有用性の検討

SUBARU健康保険組合太田記念病院 消化器内科 ○大竹 陽介, 川上 知孝, 木村浩一郎
嘉島 賢, 伊島 正志

VW1-13. 十二指腸ESDにおける術中の工夫と偶発症への対応

慶應義塾大学医学部 腫瘍センター¹⁾ ○堤 康志郎¹⁾, 加藤 元彦¹⁾, 岩崎 栄典²⁾
同 消化器内科²⁾ 金井 隆典²⁾, 矢作 直久¹⁾

ビデオワークショップ2 6/9(日) 第2会場 9:30~12:00

「ERCP,EUSのトラブルシューティング」

司会 東京医科大学 消化器内科

糸井 隆夫

埼玉医科大学国際医療センター 消化器内科 良沢 昭銘

VW2-01. 胆管挿管困難例に対する膵管ステント留置法プレカット附加の有用性の検討

がん・感染症センター都立駒込病院 消化器内科 ○千葉 和朗, 菊山 正隆, 来間佐和子
神澤 輝実

VW2-02. 胆管挿管困難例に対するプレカット-トラブルシュートとしてのPSPの有用性-

昭和大学藤が丘病院 内科学講座 消化器内科部門¹⁾ ○高野 祐一¹⁾, 新谷 文崇¹⁾, 小林 孝弘¹⁾
小田原市立病院 消化器内科²⁾ 丸岡 直隆²⁾, 長浜 正亞¹⁾

VW2-03. 内視鏡的胆道ドレナージが困難な胆管狭窄例に対する細径チューブを用いた トラブルシューティング

日本大学医学部附属板橋病院 消化器肝臓内科 ○國吉 宜行, 今津 博雄, 葉山 讓
森山 光彦

VW2-04. 胆管ステント迷入に対する対処法

東京北医療センター 消化器内科 ○岩田 朋之, 光定 聖弥, 服部 大輔
齊藤 博大, 青柳 有司

VW2-05. 胆管inside stent抜去困難3症例の経験を踏まえた抜去方法の検討

杏林大学医学部 第三内科 ○渡邊 俊介, 土岐 真朗, 落合 一成
権藤 興一, 久松 理一

VW2-06. 断裂したcovered SEMSを翻転法により抜去しえた胆管狭窄の2例

埼玉医科大学総合医療センター 消化器・肝臓内科 ○須田健太郎, 松原 三郎, 大塚 武史
道田 知樹, 屋嘉比康治

VW2-07. 胆膵内視鏡的処置に伴う穿孔に対するトラブルシューティング

慶應義塾大学医学部 消化器内科¹⁾ ○玉川 空樹¹⁾, 岩崎 栄典¹⁾, 福原誠一郎²⁾
慶應義塾大学病院 内視鏡センター²⁾ 緒方 晴彦²⁾, 金井 隆典¹⁾

VW2-08. ERCP関連十二指腸穿孔に対しOTSCを用いた内視鏡的大網充填術を行った1例

埼玉医科大学国際医療センター 消化器内科 ○谷坂 優樹, 良沢 昭銘, 水出 雅文
田島 知明, 野中 康一

VW2-09. 胆膵関連処置に伴う出血に対するトラブルシューティング

東京医科大学臨床医学系 消化器内科学 ○永井 一正, 土屋 貴愛, 祖父尼 淳
石井健太郎, 糸井 隆夫

VW2-10. EUS-FNAにおける穿刺困難例に対するトラブルシューティング

北里大学医学部 消化器内科学 ○黒須 貴浩, 長谷川力也, 岩井 知久
木田 光広, 小泉和三郎

VW2-11. EUS-HGSにおける早期偶発症とトラブル・シューティング

横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター¹⁾ ○三輪 治生¹⁾, 杉森 一哉¹⁾, 合田 賢弘¹⁾
横浜市立大学医学部 消化器内科学²⁾ 沼田 和司¹⁾, 前田 慎²⁾

ランチョンセミナー1 6/8(土) 第1会場 12:00~13:00

司会 杏林大学医学部附属病院 内科学腫瘍内科 古瀬 純司

「胃癌化学療法～日常臨床でのコツ」

聖マリアンナ医科大学 臨床腫瘍学講座 中島 貴子

共催 日本イーライリリー株式会社

ランチョンセミナー2 6/8(土) 第2会場 12:00~13:00

司会 慶應義塾大学医学部内視鏡センター 緒方 晴彦

「UC例におけるカプセル内視鏡の位置づけ」

北里大学大学院医療系研究科炎症性腸疾患臨床研究講座 小林 拓

共催 コヴィディエンジャパン株式会社

ランチョンセミナー3 6/8(土) 第3会場 12:00~13:00

司会 東京医科大学 消化器内科学分野 糸井 隆夫

「膵癌 Up-to-date ～ゲノム・免疫・薬物療法～」

慶應義塾大学医学部 腫瘍センター 浜本 康夫

共催 大鵬薬品工業株式会社

ランチョンセミナー4 6/8 (土) 第4会場 12:00~13:00

司会 慶應義塾大学医学部 内科学(消化器)

長沼 誠

「潰瘍性大腸炎治療 up to date」

東京医科歯科大学 消化器内科

藤井 俊光

共催 武田薬品工業株式会社

ランチョンセミナー5 6/9 (日) 第1会場 12:10~13:10

司会 日本医科大学 消化器内科学

岩切 勝彦

「酸関連疾患の治療戦略」

東海大学医学部 内科学系消化器内科学

鈴木 秀和

共催 アストラゼネカ株式会社/第一三共株式会社

ランチョンセミナー6 6/9 (日) 第2会場 12:10~13:10

司会 東海大学医学部 消化器外科

山本 聖一郎

腹腔鏡下大腸切除術の最前線

「脱セクショナリズム -IBD teamで取り組む外科治療の最前線-」

慶應義塾大学医学部 一般・消化器外科

岡林 剛史

「腹腔鏡下横行結腸癌手術、ロボット支援下直腸癌手術の最前線 ～高難度手術への挑戦～」

東京女子医科大学 消化器外科

大木 岳志

共催 ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

ランチョンセミナー7 6/9 (日) 第3会場 12:10~13:10

司会 国立がん研究センター中央病院 消化管内科

加藤 健

「免疫チェックポイント阻害薬の効果と副作用の実際
～消化器領域を中心に～」

慶應義塾大学医学部 消化器内科

須河 恭敬

共催 小野薬品工業株式会社/ブリistol・マイヤーズ スクイブ株式会社

ランチョンセミナー8 6/9 (日) 第4会場 12:10~13:10

司会 東京医科大学 消化器内視鏡学

河合 隆

「新時代の慢性便秘診療」

慶應義塾大学医学部 内科学 (消化器)

正岡 建洋

共催 EAファーマ株式会社/持田製薬株式会社

サテライトセミナー 1 6 / 8 (土) 第 1 会場 18 : 30 ~ 20 : 00

司会 獨協医科大学 内科学 (消化器) 郷田 憲一
国立がん研究センター東病院 消化管内視鏡科 池松 弘朗

「スクリーニング検査における私のこだわり [7-Rules]」

レクチャー 1

『上部～咽頭から十二指腸まで～』

慶應義塾大学 消化器内科 加藤 元彦

レクチャー 2

『大腸 ～挿入法から診断まで～』

昭和大学横浜市北部病院 消化器センター 三澤 将史

共催 オリンパスメディカルサイエンス販売株式会社

サテライトセミナー 2 6 / 8 (土) 第 2 会場 18 : 30 ~ 20 : 00

司会 自治医科大学 消化器内科学部門 山本 博徳
日本大学 消化器肝臓内科学分野 後藤田卓志

「ESD 安全・確実なストラテジー」

基調講演

自治医科大学 消化器内科学部門 山本 博徳

演者 1

埼玉県立がんセンター 内視鏡科 有馬美和子

演者 2

自治医科大学 消化器内科学部門 林 芳和

共催 富士フィルムメディカル株式会社

教育レクチャー 1 6 / 8 (土) 第 3 会場 10 : 50 ~ 11 : 30

司会 東京医科大学 消化器・小児外科学分野

勝又 健次

**「大腸癌を根治させるための治療計略
～術前治療, 手術, そして術後補助療法」**

北里大学医学部 下部消化管外科学

佐藤 武郎

共催 中外製薬株式会社

教育レクチャー 2 6 / 9 (日) 第 1 会場 13 : 20 ~ 14 : 00

司会 東邦大学医療センター大森病院 消化器内科

五十嵐 良典

**「Tokyo Guidelines 2018における急性胆道炎ドレナージ
～臓器サポートとしての抗凝固療法も踏まえて～」**

東京医科大学病院 消化器内科

糸井 隆夫

共催 旭化成ファーマ株式会社

症例検討セッション 6/9 (日) 症例検討セッション会場 9:00~10:30

「食道」

司会 埼玉県立がんセンター 内視鏡科 有馬美和子
埼玉医科大学総合医療センター 消化管・一般外科 熊谷 洋一

症例提示者 東京医科歯科大学 消化管外科 川田 研郎
埼玉県立がんセンター 内視鏡科 都宮 美華
埼玉医科大学総合医療センター 消化管・一般外科 熊谷 洋一
読影者 東京慈恵会医科大学 内視鏡医学講座 原 裕子
がん研有明病院 消化器内科 中野 薫
東京都がん検診センター 消化器内科 依光 展和
病理コメントーター 横浜市立大学医学部病態病理 立石 陽子
統括コメントーター 川崎市立井田病院 内視鏡センター 大森 泰

症例検討セッション 6/9 (日) 症例検討セッション会場 10:30~12:00

「胃・十二指腸」

司会 がん研有明病院 消化器内科 藤崎 順子
帝京大学医学部 内科学講座 小田島慎也

症例提示者 がん研究会 有明病院 消化器内科 鈴木 桂悟
東京大学医学部附属病院 消化器内科 水谷 浩哉
読影者 東京労災病院 内科 乾山 光子
東京都健康長寿医療センター 消化器内科 剛崎 有加
臨床コメントーター 東京品川病院 消化器内科 石井 直樹
病理コメントーター 東京大学 人体病理学・病理診断学 牛久 哲男

症例検討セッション 6/9 (日) 症例検討セッション会場 13:20~14:50

「下部消化管」

司会 自治医科大学 内科学講座 山本 博徳
杏林大学医学部 第三内科学教室 久松 理一

症例提示者 獨協医科大学医学部 内科学(消化器)講座 富永 圭一
横浜市立大学附属市民総合医療センター 炎症性腸疾患(IBD)センター 班目 明
読影者 慶應義塾大学医学部内視鏡センター 高林 馨
自治医科大学 内科学講座消化器内科学部門 相良 裕一
病理コメンテーター 弘前大学医学部附属病院 病理部 明本 由衣

症例検討セッション 6/9 (日) 症例検討セッション会場 14:50~16:20

「胆道」

司会 順天堂大学医学部 消化器内科 伊佐山浩通
東邦大学医療センター大森病院 消化器内科 岡野 直樹

症例提示者 順天堂大学 消化器内科 石井 重登
東京医科大学 消化器内科 山本健治郎
読影者 東京大学医学部附属病院 消化器内科 高原 楠昊
国立がん研究センター中央病院 肝胆膵内科 脇岡 範
聖マリアンナ医科大学 消化器・肝臓内科 中原 一有
病理コメンテーター 順天堂大学 人体病理病態学 岸川さつき

ハンズオントレーニングセッション

協力：オリンパスメディカルサイエンス販売株式会社

「胃ESDコース」

6/8 (土) 第5会場 9:00~12:00

総合司会	慶應義塾大学腫瘍センター	矢作 直久
インストラクター		
	横浜市立大学附属市民総合医療センター	平澤 欣吾
	日本大学医学部 消化器肝臓内科	草野 央
	NTT東日本関東病院 消化器内科	港 洋平
	慶應義塾大学医学部腫瘍センター 低侵襲療法研究開発部門	前畑 忠輝

「食道ESDコース」

6/8 (土) 第5会場 13:00~16:00

総合司会	国立がん研究センター中央病院 内視鏡科	吉永 繁高
インストラクター		
	国立がん研究センター中央病院 内視鏡科	阿部清一郎
	埼玉医科大学国際医療センター 消化器内科	野中 康一
	虎の門病院 消化器内科	菊池 大輔
	慶應義塾大学 消化器内科	加藤 元彦

「大腸ESDコース」

6/9 (日) 第5会場 9:00~12:00

総合司会 国立がん研究センター中央病院 内視鏡科 齋藤 豊

インストラクター

群馬大学大学院医学系研究科内科学講座 消化器・肝臓内科学分野 浦岡 俊夫

埼玉医科大学国際医療センター 消化器内科 野中 康一

東京医療センター 消化器内科 藤本 愛

国立がん研究センター中央病院 内視鏡科 高丸 博之

「EUS-FNAコース」

6/9 (日) 第5会場 13:20~16:20

総合司会 東京大学医学部 消化器内科 中井 陽介

インストラクター

慶應義塾大学医学部 消化器内科 岩崎 栄典

東京医科大学 消化器内科 土屋 貴愛

帝京大学医学部附属溝口病院 消化器内科 土井 晋平

東京大学 消化器内科 水野 卓

演題番号 区 分 時 間 座 長 名

座 長 一 覧

～専修医セッション～

6/8 (土) 第3会場

1～ 5	食道	9：00～ 9：35	川口 佑輔
6～ 8	胃	9：35～ 9：56	鈴木 晴久
9～ 11	胃・十二指腸	9：56～10：17	高林英日己
12～ 15	小腸	10：17～10：45	宮永 亮一
16～ 19	大腸1	13：20～13：48	新井 典岳
20～ 23	大腸2	13：48～14：16	安江 千尋
24～ 26	大腸3	14：16～14：37	皆月ちひろ
27～ 30	胆道	14：37～15：05	石井 重登
31～ 34	胆道・膵臓	15：05～15：33	土屋 貴愛

～研修医セッション～

6/8 (土) 第4会場

35～ 38	大腸1	9：00～ 9：28	神津 隆弘
39～ 42	大腸2	9：28～ 9：56	関口 正宇
43～ 46	十二指腸・大腸	9：56～10：24	冠城 拓示
47～ 51	食道・胃	13：20～13：55	渡邊菜穂美
52～ 55	胆道	13：55～14：23	清水 雄大
56～ 58	膵臓	14：23～14：44	牛尾 純

演題番号 区 分 時 間 座 長 名

～一般演題～

6/9 (日) 第3会場

59～ 62	胃1	9：30～10：02	和田 拓也
63～ 66	胃2	10：02～10：34	島村 勇人
67～ 71	食道・胃	10：34～11：14	吉井 貴子
72～ 75	食道	11：14～11：46	星野 明弘
76～ 80	胆道・膵臓	14：00～14：40	金子 恵子
81～ 84	胆道・膵臓・十二指腸	14：40～15：12	向井俊太郎
85～ 88	十二指腸・小腸	15：12～15：44	三浦 みき
89～ 92	小腸	15：44～16：16	牟田口 真

～一般演題～

6/9 (日) 第4会場

93～ 96	大腸1	9：30～10：02	村野 竜朗
97～100	大腸2	10：02～10：34	木下 聡
101～105	大腸3	10：34～11：14	小田切啓之
106～109	大腸4	11：14～11：46	田島 知明

評 価 者

聖マリアンナ医科大学 東横病院 消化器病センター	落合 康利
聖マリアンナ医科大学 消化器・肝臓内科	佐藤 義典
東京医療センター 消化器内科	森 英毅

専修医セッション 6/8 (土) 第3会場

9:00~9:35 食道 座長 北里大学メディカルセンター 消化器内科 川口 佑輔

1. 内視鏡像が特徴的であった好酸球性食道炎の一例

佐野厚生総合病院 消化器内科 ○西岡 謙, 岡村 幸重, 須永 将梧
堀江 知史, 亀山 尚子, 寺元 研
東澤 俊彦, 関根 忠一

2. 急激な増大を認めた粘膜下腫瘍様の形態を呈した食道類基底細胞癌の1例

横浜市立みなと赤十字病院 ○原 英展, 池宮城秀和, 石井 亮佑
持田 知洋, 米本 有輝, 杉山 勇太
町田 智世, 渡邊 彩子, 金城 美幸
深見 裕一, 吉野 耕平, 先田 信哉
小野 秀高, 熊谷 二郎

3. 最小限の切除と狭窄予防を駆使して内視鏡治療後狭窄を予防できた亜全周性表層拡大型食道癌の一例

帝京大学医学部附属病院 消化管内科学講座 ○本田 卓, 小田島慎也, 駒崎 伸伍
天野 博仁, 小松田章悟, 間邊 大輔
芳賀 幸, 飛田 拓途, 松本 康佑
櫻井美代子, 大和 洸, 柳澤 大輔
大隅 瞬, 丸山 喬平, 中村 直裕
三木 惇史, 岡村 喬之, 青柳 仁
磯野 朱里, 阿部浩一郎, 山本 貴嗣

4. 食道癌ESD直後の食道破裂による巨大穿孔に対し、持続的穿孔部洗浄法にて保存的に加療しえた一例

横浜市立市民病院 消化器内科 ○東 佑香, 諸星 雄一, 小池 祐司
辻野誠太郎, 角田 裕也, 伊藤 剛
今村 諭, 長久保秀一, 藤田由里子
小松 弘一

5. 仮性憩室化し治癒した医原性食道穿孔の一例

さいたま市立病院 外科 ○崎本 優里, 鴫沢 一徳, 岡本 信彦
藤井 琢, 馬場 秀雄, 竹島 薫
朝見 淳規, 山藤 和夫, 窪地 淳

9:35~9:56 胃 座長 国立がん研究センター中央病院 内視鏡科 鈴木 晴久

6. 診断に苦慮したサイトメガロウイルス胃炎の1例

戸田中央総合病院 消化器内科 ○神田 遼弥, 山本 圭, 中坪 良輔
平川 徳之, 村松 孝洋, 鈴木 由華
本間 俊裕, 山本健治郎, 岸本 佳子
堀部 俊哉, 原田 容治

7. *H.Pylori* 未感染の前庭部に発生した早期胃癌（高分化管状腺癌）の1例

日本医科大学医学部付属病院 消化器内科学 ○長谷川雄太, 貝瀬 満, 箕輪真寿美
池田英里子, 桐田久美子, 野田 啓人
樋口 和寿, 梅田 隆満, 大森 順
岩下 愛, 後藤 修, 岩切 勝彦

8. 貧血・低蛋白血症に対し胃全摘術が有効であった若年性ポリポーシスの1例

日本医科大学付属病院 消化器外科¹⁾ ○松井 隆典¹⁾, 柿沼 大輔¹⁾, 藤田 逸郎¹⁾
同 消化器内科²⁾ 金沢 義一¹⁾, 松野 邦彦¹⁾, 下田 朋宏¹⁾
高 和英¹⁾, 樋口 和寿²⁾, 後藤 修²⁾
貝瀬 満²⁾, 岩切 勝彦²⁾, 吉田 寛¹⁾

9:56~10:17 胃・十二指腸 座長 埼玉医科大学総合医療センター 消化器・肝臓内科 高林英日己

9. 肝転移を有する噴門部胃癌に対して抗癌剤と癌ワクチン療法併用にて長期CRを得た症例

練馬総合病院 外科¹⁾ ○柳下 陽香¹⁾, 栗原 直人^{1, 2)}, 佐々木康宏²⁾
同 内視鏡センター²⁾ 松田 英士²⁾, 浅田 祐介¹⁾, 徳山 丞¹⁾
飯田 修平¹⁾

10. 粘膜下層浸潤を来した胃底腺型胃がんの一例

さいたま市立病院¹⁾ ○山本 傑¹⁾, 桂 英之¹⁾, 町田 健太¹⁾
慶應義塾大学病院²⁾ 五島 恵¹⁾, 山崎 崇之¹⁾, 三浦 邦治¹⁾
篠崎 博志¹⁾, 金田 浩幸¹⁾, 尾島 英知¹⁾
宮内 潤¹⁾, 下田 将之²⁾

11. 深達度診断に苦慮した*H.pylori* 除菌後進行胃癌の一例

昭和大学医学部内科学講座 消化器内科学部門¹⁾ ○鈴木 統大¹⁾, 片桐 敦¹⁾, 中谷 真也¹⁾
昭和大学医学部外科学講座 消化器一般外科学部門²⁾ 菊池 一生¹⁾, 牛腸 俊彦¹⁾, 飯島堅太郎¹⁾
昭和大学 臨床病理診断学講座³⁾ 柳澤 文人¹⁾, 田川 徹平¹⁾, 居軒 和也¹⁾
紺田 健一¹⁾, 東條 正幸¹⁾, 木原 俊裕¹⁾
矢野雄一郎¹⁾, 久保田祐太郎¹⁾, 小西 一男¹⁾
吉田 仁¹⁾, 山崎 公靖²⁾, 村上 雅彦²⁾
矢持 淑子³⁾, 盾 玄秀³⁾, 瀧本 雅文³⁾

10:17~10:45

小腸

座長 東京医療センター

宮永 亮一

12. 小腸大腸型Crohn病に小腸GISTを合併した一例

日本大学医学部 消化器・肝臓内科 ○杉田 知実, 岩本 真帆, 山川 俊
入江 彰, 江崎 充, 春田 明子
中島 典子, 今津 博雄, 後藤田卓志
森山 光彦

13. 内視鏡的に小腸子宮内膜症を診断し腹腔鏡下回盲部切除術を施行した1例

北里大学北里研究所病院 外科¹⁾ ○小桐 雅世¹⁾, 落合 大樹¹⁾, 石井 良幸¹⁾
同 胃腸センター²⁾ 前田日菜子¹⁾, 雨宮 隆介¹⁾, 迫 裕之¹⁾
神谷 紀輝¹⁾, 大作 昌義¹⁾, 中野 雅²⁾
渡邊 昌彦¹⁾

14. 内視鏡で整復しえた小腸Crohn病を伴う成人腸重積症の1例

稲城市立病院 外科¹⁾ ○奥居 潤¹⁾, 高橋 剛志¹⁾, 角田 潤哉¹⁾
同 病理科²⁾ 廣瀬 盟子¹⁾, 星野 大樹¹⁾, 平岩 訓彦¹⁾
上山 義人²⁾, 齋藤 淳一¹⁾

15. 回腸憩室出血に対して内視鏡的クリップ止血術を施行した一例

新東京病院 消化器内科 ○永坂 拓也, 村上 大輔, 氏原 哲郎
中原良太郎, 佐上 亮太, 末廣 聡士
勝山 泰志, 早坂 健司, 原田 英明
天野 祐二

評 価 者

埼玉医科大学 消化管内科	都築 義和
日本大学附属板橋病院 消化器・肝臓内科	岩本 真帆
伊勢原協同病院 外科	壁島 康郎

専修医セッション 6/8 (土) 第3会場

13:20~13:48 大腸1 座長 東邦大学医療センター大森病院 消化器内科 新井 典岳

16. 広範な潰瘍性病変を呈したアメーバ性大腸炎の一例

慶應義塾大学病院 消化器内科¹⁾ ○津軽 開¹⁾, 高林 馨²⁾, 南木 康作¹⁾
 同 内視鏡センター²⁾ 野田まりん¹⁾, 下嵯啓太郎¹⁾, 林 由紀恵¹⁾
 平田 賢郎¹⁾, 福原佳代子²⁾, 三上 洋平¹⁾
 水野 慎大¹⁾, 加藤 元彦¹⁾, 正岡 建洋¹⁾
 細江 直樹¹⁾, 長沼 誠¹⁾, 緒方 晴彦²⁾
 金井 隆典¹⁾

17. 粘膜下腫瘍の形態を呈した大腸粘膜下層浸潤癌の1例

東邦大学医療センター大橋病院¹⁾ ○馬場 隆成¹⁾, 木村 隆輔¹⁾, 富永 健司¹⁾
 同 外科²⁾ 吉田 有輝¹⁾, 高橋 厚子¹⁾, 島田 長怜¹⁾
 東邦大学医療センター 病理診断科³⁾ 村上 貴寛¹⁾, 里井 新¹⁾, 榎本 俊行²⁾
 長尾さやか²⁾, 高橋亜紗子²⁾, 伊藤 一樹²⁾
 斉田 芳久²⁾, 横内 幸³⁾, 前谷 容¹⁾

18. 自己免疫性肝炎に対して副腎皮質ステロイド投与中にサイトメガロウイルス腸炎を合併した2例

埼玉医科大学病院 消化器内科・肝臓内科 ○倉田 隼斗, 浅見真衣子, 今井 幸紀
 植村 隼人, 山羽 晋平, 印藤 佳織
 鈴木 隆信, 齊藤 陽一, 鷹野 雅史
 淵上 彰, 塩川 慶典, 藤井 庸平
 内田 義人, 打矢 紘, 中澤 学
 安藤さつき, 菅原 通子, 中尾 将光
 本谷 大介, 中山 伸朗, 持田 智

19. 血便を契機に診断に至った直腸異所性胃粘膜の1例

自衛隊横須賀病院 消化器内科¹⁾ ○平田 太陽¹⁾, 松崎 宏治¹⁾, 藤岡 直子¹⁾
 同 病理科²⁾ 徳永 徹二¹⁾, 加藤 八重²⁾, 小原 一葉²⁾

13 : 48~14 : 16 大腸2

座長 がん研有明病院 消化器内科 安江 千尋

20. 大腸癌を合併し内視鏡経過を確認し得たCronkhite-canada症候群の1例

東京医科大学茨城医療センター 消化器内科 ○玉虫 惇, 小西 直樹, 岩本 淳一
平山 剛, 上田 元, 門馬 匡邦
屋良昭一郎, 村上 昌, 池上 正

21. ESDで治癒し得た陥凹を伴う12mm大の直腸NETの1例

順天堂大学医学部 消化器内科 ○沖 翔太郎, 福嶋 浩文, 坂本 直人
黒澤 太郎, 村上 敬, 澁谷 智義
伊佐山浩通, 池嶋 健一, 椎名秀一朗
永原 章仁

22. 尖圭コンジローマに内視鏡的に視認できない高異型度肛門上皮内腫瘍(AIN)を合併した一例

NTT東日本関東病院 ○木本 義明, 大圃 研, 中尾 友美
小西 隆文, 石井 鈴人, 神田 圭輔
根岸 良充, 小川さや香, 瀧田麻衣子
武田 梨里, 港 洋平, 酒井 英嗣
村元 喬, 橋本 浩次, 松橋 信行

23. 肛門からの脱出で発見されたS状結腸大型脂肪腫を内視鏡的切除しえた一例

秀和総合病院 外科 ○新井 聡大, 桑原 博, 富 義明
佐藤 拓, 吉田 達也

14 : 16~14 : 37 大腸3

座長 東京大学医学部附属病院 感染制御部 皆月ちひろ

24. 下部消化管内視鏡検査後に急性虫垂炎を来した一例

東京通信病院 消化器内科 ○安部佑里恵, 古谷 建悟, 高岡 真哉
加藤 知爾, 小林 克也, 関川憲一郎
光井 洋

25. 1年半で3回の内視鏡的止血術を実施したが, 下血の原因がそれぞれ異なっていた85歳女性の経験

公立福生病院 外科 ○大杉 頌子, 中村 威, 仲丸 誠
次田 正, 星川 竜彦, 石井 正嗣

26. 内視鏡的に除去し得た直腸異物の一例

東京労災病院 消化器内科 ○松本 将, 原 精一, 篠原 裕和
山本友里恵, 藤井 紘大, 大場 信之
西中川秀太, 児島 辰也

14 : 37~15 : 05 胆道

座長 順天堂大学 消化器内科 石井 重登

27. ナイチノール製機械的碎石具のバスケット嵌頓に対しスネアを用いたバスケット反転法にて解除しえた1例

聖マリアンナ医科大学病院 消化器・肝臓内科¹⁾ ○薩田 祐輔¹⁾, 森田 亮¹⁾, 中原 一有¹⁾
川崎市立多摩病院 消化器・肝臓内科²⁾ 路川 陽介¹⁾, 末谷 敬吾²⁾, 辻 顕介²⁾
伊東 文生¹⁾

28. 抗血小板薬2剤併用療法(DAPT)中の急性胆嚢炎に対し超音波内視鏡下胆嚢ドレナージ(EUS-GBD)を施行し待機的に胆嚢摘出を行った一例

新東京病院 消化器内科 ○氏原 哲郎, 早坂 健司, 佐上 亮太
永坂 拓也, 中原良太郎, 村上 大輔
末廣 聡士, 勝山 泰志, 原田 英明
天野 祐二

29. EUSランデブー法により完全切石に成功した胃全摘後巨大総胆管結石の1例

横浜市立大学医学部 肝胆膵消化器病学 ○鈴木 洸, 佐藤 高光, 長谷川 翔
細野 邦広, 窪田 賢輔, 中島 淳

30. 胆管内乳頭状腫瘍 (IPNB) が産生する粘液による閉塞性黄疸に対して胆道鏡下アルゴンプラズマ凝固法(APC)が有効だった一例

三井記念病院 ○新井 絢也, 戸田 信夫, 今井 誠
福村 幸代, 黒川 憲, 柴田智華子
近藤真由子, 高木 馨, 小島健太郎
大木 隆正, 関 道治, 加藤 順
田川 一海

15 : 05~15 : 33 胆道・膵臓

座長 東京医科大学 消化器内科 土屋 貴愛

31. 内視鏡的乳頭切除術後の遺残病変に対して膵頭十二指腸切除術を行った1例

慶應義塾大学医学部 外科学 (一般・消化器) ○東 尚伸, 北郷 実, 堀 周太郎
大島 剛, 八木 洋, 阿部 雄太
篠田 昌宏, 岩崎 栄典, 北川 雄光

32. 膵実質の萎縮, 膵管狭窄を認め外科的切除を行った1例

がん・感染症センター都立駒込病院 消化器内科¹⁾ ○高尾 公美¹⁾, 菊山 正隆¹⁾, 高雄 暁成¹⁾
同 内視鏡科²⁾ 柴田 理美¹⁾, 千葉 和朗¹⁾, 来間佐和子¹⁾
大西 知子¹⁾, 荒川 丈夫²⁾, 門馬久美子²⁾
小泉 浩一¹⁾

33. リンパ節転移を認めた微小な膵神経内分泌腫瘍(G1)の1例

東京医科大学 消化器 臨床医学系消化器内科学分野 ○島井 智士, 祖父尼 淳, 土屋 貴愛
石井健太郎, 田中 麗奈, 殿塚 亮祐
本定 三季, 藤田 充, 永井 一正
朝井 靖二, 松波 幸寿, 小嶋 啓之
糸井 隆夫

34. 膵頭十二指腸切除術術前胆道ドレナージ (ERBD) を施行, 胆道感染症を生じ周術期管理に難渋した1例

稲城市立病院 ○角田 潤哉, 廣瀬 盟子, 高橋 剛志
星野 大樹, 平岩 訓彦, 齋藤 淳一

評 価 者

東京医科歯科大学 光学医療診療部
 荻窪病院 外科
 順天堂大学 消化器内科

福田 将義
 矢部 信成
 松本 紘平

研修医セッション 6/8 (土) 第4会場

9:00~9:28 大腸1 座長 医療法人社団 存誠堂 神津クリニック 神津 隆弘

35. 内視鏡的粘膜下層剥離術を施行した直腸Inflammatory fibroid polypの一例

国家公務員共済組合連合会虎の門病院 消化器内科 ○小田倉里奈, 鈴木 悠悟, 松井 啓
 落合 頼成, 早坂淳之介, 田中 匡実
 小田切啓之, 野村 浩介, 山下 聡
 菊池 大輔, 飯塚 敏郎, 布袋屋 修

36. 下部消化管内視鏡を契機に発見された成人特発性腸重積症の1例

東京都済生会中央病院 消化器内科¹⁾ ○須田 悟史¹⁾, 三枝慶一郎¹⁾, 千田 彰彦¹⁾
 同 腫瘍内科²⁾ 堀江 沙良¹⁾, 林 智康¹⁾, 田沼 浩太¹⁾
 同 一般・消化器外科³⁾ 小川 歩¹⁾, 青木 優²⁾, 星野 舞²⁾
 同 病理診断科⁴⁾ 上田 真裕¹⁾, 岸野 竜平¹⁾, 酒井 元²⁾
 船越 信介²⁾, 北 英典³⁾, 遠藤 高志³⁾
 原田 裕久³⁾, 中澤 敦¹⁾, 廣瀬 茂道⁴⁾

37. 検診大腸内視鏡時に偶然発見されたヒト回虫症の一例

昭和大学江東豊洲病院 消化器センター¹⁾ ○小川 舞帆^{1, 2)}, 上野 明子¹⁾, 柴田 悠樹¹⁾
 同 臨床研修センター²⁾ 田邊 万葉¹⁾, 保母 貴弘¹⁾, 有馬 秀英¹⁾
 浦上 尚之¹⁾, 横山 登¹⁾, 井上 晴洋¹⁾

38. 当科における直腸カルチノイド6症例の検討

防衛医科大学校病院 内科学2講座¹⁾ ○武川 舞子¹⁾, 富岡 明¹⁾, 福間 文¹⁾
 同 光学医療診療部²⁾ 綾木 花奈¹⁾, 村原 なみ¹⁾, 露木 和彬¹⁾
 西村 弘之¹⁾, 田原 寛之¹⁾, 池山 佳輔¹⁾
 西井 慎¹⁾, 溝口 明範¹⁾, 杉原 奈央¹⁾
 和田 晃典¹⁾, 渡辺知佳子¹⁾, 高本 俊介²⁾
 穂苅 量太¹⁾, 永尾 重昭²⁾

9 : 28 ~ 9 : 56 大腸2 座長 国立がん研究センター中央病院 検診センター／内視鏡科 関口 正宇

39. ランソプラゾール起因性Collagenous colitisの1例

東京都済生会中央病院 一般・消化器外科¹⁾ ○高橋 祥子¹⁾, 前田 祐助¹⁾, 上田 真裕²⁾
 同 消化器内科²⁾ 北 英典¹⁾, 栗原奈津子¹⁾, 笹嶋 寛史¹⁾
 吉野 雄大¹⁾, 小林 陽介¹⁾, 大平 正典¹⁾
 鳥海 史樹¹⁾, 遠藤 高志¹⁾, 中澤 敦²⁾
 原田 裕久¹⁾

40. 動脈塞栓術にて止血し得た虫垂出血の1例

東京歯科大学市川総合病院 消化器内科 ○中代 幸江, 財部紗基子, 猪口 和美
 北川 清宏, 春日 良介, 田淵 貴也
 荒畑 恭子, 尾城 啓輔, 岸川 浩
 西田 次郎

41. 高度の貧血を契機に発見された放射線性腸炎の一例

都立駒込病院 消化器内科¹⁾ ○小笠原 涼¹⁾, 大西 知子¹⁾, 田畑 宏樹¹⁾
 同 内視鏡科²⁾ 高雄 暁成¹⁾, 柴田 理美¹⁾, 千葉 和朗¹⁾
 来間佐和子¹⁾, 荒川 丈夫²⁾, 菊山 正隆¹⁾
 門馬久美子²⁾, 小泉 浩一¹⁾

42. 腸重積を呈した脾湾曲部結腸脂肪腫に対して腹腔鏡手術を施行した一例

練馬総合病院 外科 ○丹生谷凜太郎, 栗原 直人, 浅田 祐介
 下田 啓文, 山田 暢, 徳山 丞
 飯田 修平

9 : 56 ~ 10 : 24 十二指腸・大腸 座長 埼玉メディカルセンター 外科 冠城 拓示

43. 十二指腸副乳頭切除後に重症急性膵炎を発症した膵管癒合不全の一例

慶應義塾大学病院 卒後臨床研修センター¹⁾ ○貝發 美香¹⁾, 脇坂 悠介²⁾, 加藤 元彦^{2, 3)}
 同 消化器内科²⁾ 鮑本 哲兵³⁾, 堤 康志郎³⁾, 木口 賀之³⁾
 同 腫瘍センター³⁾ 中山 敦史³⁾, 福原誠一郎⁴⁾, 前畑 忠輝³⁾
 同 内視鏡センター⁴⁾ 落合 康利³⁾, 岩崎 栄典²⁾, 矢作 直久³⁾
 金井 隆典²⁾

44. 大腸全摘後に潰瘍性大腸炎の十二指腸病変を発症した一例

水戸済生会総合病院 消化器内科 ○富永 雅規, 柏村 浩, 中川美由貴
 宗像 紅里, 金野 直言, 高橋 幸治
 大川原 健, 青木 洋平, 仁平 武

45. 潰瘍性大腸炎に憩室炎からの腹腔内の膿瘍による S 状結腸狭窄を合併した一例

埼玉医科大学 総合診療内科¹⁾ ○杉本 啓¹⁾, 芦谷 啓吾¹⁾, 宮口 和也¹⁾
同 消化器一般外科²⁾ 沼尻 良輝²⁾, 高山 哲嘉²⁾, 深野 敬之²⁾
同 病理部³⁾ 金 玲³⁾, 山田 健人³⁾, 大庫 秀樹^{1, 4)}
同 消化管内科⁴⁾ 都築 義和^{1, 4)}, 中元 秀友¹⁾, 今枝 博之^{1, 4)}

46. Endocytoscope で診断しえたアメーバ性大腸炎の一例

埼玉医科大学病院 総合診療内科¹⁾ ○新井 由実¹⁾, 宮口 和也¹⁾, 芦谷 啓吾¹⁾
同 消化管内科²⁾ 大庫 秀樹²⁾, 都築 義和²⁾, 佐々木秀悟¹⁾
同 病理診断科³⁾ 小林 威仁¹⁾, 金 玲³⁾, 中元 秀友¹⁾
慶應義塾大学 内視鏡センター⁴⁾ 細江 直樹⁴⁾, 今枝 博之²⁾

評 価 者

NTT東日本関東病院 消化器内科	港 洋平
国立病院機構埼玉病院 消化器内科	碓井 真吾
東京医療センター 消化器内科	藤本 愛

研修医セッション 6/8 (土) 第4会場

13:20~13:55 食道・胃 座長 獨協医科大学病院 健康管理科 渡邊菜穂美

47. 好酸球性食道炎に対する吸入ステロイド内服療法中に発症したサイトメガロウイルス食道炎の1例

東京都立墨東病院 内科 ○須崎 賢, 松岡 愛菜, 小林 克誠
大科 枝里, 酒井 駿, 松井 裕樹
土屋 杏平, 大倉 幸和, 野坂 崇仁
松本 太一, 古本 洋平, 佐崎なほ子
堀内 亮郎, 浅野 徹, 藤木 和彦

48. 食道カンジダ症との鑑別が困難であった高分化型扁平上皮癌の一例

東海大学医学部附属八王子病院 消化器外科¹⁾ ○百瀬 菜奈¹⁾, 山本壮一郎¹⁾, 幕内 博康¹⁾
同 救命救急科²⁾ 阿部 凜¹⁾, 上田 恭彦¹⁾, 船木 裕¹⁾
吉井 久倫¹⁾, 町田 隆志¹⁾, 宇田 周司¹⁾
日上 滋雄^{1, 2)}, 長谷川小百合¹⁾, 和泉 秀樹¹⁾
茅野 新¹⁾, 向井 正哉¹⁾, 野村 栄治¹⁾

49. 出血を繰り返す胃脂肪腫対して内視鏡的粘膜下層剥離術を施行した1例

日本大学医学部 消化器肝臓内科 ○松本 卓大, 江崎 充, 入江 彰
山川 俊, 岩男 彩, 春田 明子
菊池 浩史, 岩本 真帆, 永井晋太郎
森山 光彦

50. 貧血を契機に発見されESDを施行した胃平滑筋肉腫の一例

北里研究所病院 消化器内科¹⁾ ○村木 敏郎¹⁾, 宮本 康雄¹⁾, 森久保 拓¹⁾
同 放射線科²⁾ 清原 裕貴¹⁾, 松林 真央¹⁾, 牧田 遊子¹⁾
同 病理科³⁾ 佐上晋太郎¹⁾, 小林 拓¹⁾, 中野 雅¹⁾
矢内原 久²⁾, 大部 誠³⁾, 常松 令¹⁾
日比 紀文¹⁾

51. 内視鏡で経時的变化を観察し得た*H.pylori* 急性感染の一例

利根中央病院 消化器内科¹⁾ ○松原 侑紀¹⁾, 山田 俊哉¹⁾, 小林 剛¹⁾
群馬大学医学部附属病院 消化器・肝臓内科²⁾ 浦岡 俊夫²⁾

13:55~14:23 胆道 座長 群馬大学医学部附属病院 消化器・肝臓内科 清水 雄大

52. 経過をおえたセフトリアキソンによる偽胆石症に伴う胆管結石の一例

筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター 水戸協同病院¹⁾ ○梶原 知巳¹⁾, 有賀 啓之²⁾, 熊倉 有里²⁾
同 消化器内科²⁾ 鹿志村純也²⁾

53. 診断に難渋した悪性胆管狭窄に対してEUS-FNAで確定診断を得ることができた一例

東京歯科大学市川総合病院¹⁾ ○正源 勇朔¹⁾, 瀧川 穰²⁾, 門多 由恵²⁾
同 外科²⁾ 別宮絵美真²⁾, 財部紗基子²⁾, 久岡 和彦²⁾
同 消化器内科³⁾ 須田秀太郎²⁾, 下河原達也²⁾, 小野 滋司²⁾
同 臨床検査科⁴⁾ 小倉 正治²⁾, 浅原 史卓²⁾, 江口 圭介²⁾
和田 徳昭²⁾, 佐々木 文⁴⁾, 西田 次郎³⁾
長谷川博俊²⁾, 松井 淳一²⁾

54. 胆管十二指腸瘻よりSpyGlass下EHLにて破碎し得た肝内結石の1例

東京西徳洲会病院 消化器内科¹⁾ ○菱川 敬規¹⁾, 山本 龍一¹⁾, 阿部 敏幸²⁾
埼玉心会病院 消化器内科²⁾ 山路 文範³⁾, 五十嵐優人³⁾, 数納 祐馬³⁾
東京西徳洲会病院 外科³⁾ 飯島 広和³⁾, 高木 睦郎³⁾, 渡部 和巨³⁾

55. EUS-HGS後のstent kinkingに対して, Re-interventionを施行した一例

横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター¹⁾ ○加藤 実玖¹⁾, 三輪 治生¹⁾, 鈴木 良優¹⁾
横浜市立大学医学部 消化器内科学²⁾ 戸塚雄一郎¹⁾, 小宮山哲史¹⁾, 佐藤 健¹⁾
合田 賢弘¹⁾, 杉森 一哉¹⁾, 沼田 和司¹⁾
前田 慎²⁾

14:23~14:44 膵臓 座長 自治医科大学内科学講座 消化器内科学部門 牛尾 純

56. 主膵管狭窄を来した膵神経内分泌腫瘍の一例

筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター 総合病院水戸協同病院 消化器内科 ○藤井 辰賢, 鹿志村純也, 有賀 啓之
熊倉 有里

57. 内視鏡的乳頭切除術一年後に発症した重症急性膵炎後の被包化膵壊死に対し内視鏡治療により治癒し得た一例

東京医科大学病院 卒後臨床研修センター¹⁾ ○若月 慶¹⁾, 祖父尼 淳²⁾, 土屋 貴愛^{1, 2)}
東京医科大学 消化器内科学分野²⁾ 石井健太郎²⁾, 田中 麗奈²⁾, 殿塚 亮祐²⁾
本定 三季²⁾, 藤田 充²⁾, 朝井 靖二²⁾
松波 幸寿²⁾, 小嶋 啓之²⁾, 糸井 隆夫²⁾

58. 膵管内乳頭粘液性腫瘍に伴った嚢胞感染に対して超音波内視鏡下嚢胞ドレナージを行った例

横浜南共済病院 消化器内科 ○稗田 裕太, 岡崎 博, 岡 裕之
金子 卓, 濱中 潤, 西郡 修平
有馬 功, 飯谷 槇, 天野 仁至
飯塚 千乃, 中山 沙映, 船岡 昭宏
石田 彩花, 渡部 衛, 吉村 勇人

一般演題 6/9 (日) 第3会場

9:30~10:02 胃1 座長 北里大学医学部 消化器内科学 和田 拓也

59. 胃神経内分泌癌との混在を認め診断に苦慮したAFP産生胃癌の一例

池上総合病院 消化器病センター¹⁾ ○眞田 和賢¹⁾, 花岡 友梨¹⁾, 藤村 彰¹⁾
 同 病理科²⁾ 和久津亜紀子¹⁾, 村山 晶俊¹⁾, 加持順一郎¹⁾
 柴山 泰久¹⁾, 飛田 浩輔¹⁾, 高安 博之¹⁾
 石川 健二¹⁾, 深澤 麻希¹⁾, 鈴木 理之¹⁾
 加藤 優子²⁾

60. CEA上昇を伴った高齢発症のカンジダ胃潰瘍の一例

桐生厚生総合病院¹⁾ ○椎名 啓介¹⁾, 飯田 智広¹⁾, 竝川 昌司¹⁾
 群馬大学医学部附属病院²⁾ 菅間 一乃¹⁾, 岡野 祐大¹⁾, 佐藤 圭吾¹⁾
 福地 達¹⁾, 浦岡 俊夫²⁾

61. 下血を契機に診断された*H.pylori* 陰性・MALTリンパ腫の一例

深谷赤十字病院 消化器科¹⁾ ○江藤 宏幸¹⁾, 川辺 晃一¹⁾, 葛西 豊高¹⁾
 同 外科²⁾ 村松 誠司¹⁾, 中原 守康¹⁾, 宮原 庸介¹⁾
 荻野 太郎¹⁾, 石川 文彦²⁾, 新田 宙²⁾
 藤田 昌久²⁾, 釜田 茂幸²⁾, 伊藤 博²⁾

62. 経過観察中に様々な形態を呈した胃粘膜下腫瘍の1例

横浜南共済病院 消化器内科 ○岡 裕之, 吉村 勇人, 渡部 衛
 石田 彩花, 船岡 昭宏, 中山 沙映
 天野 仁至, 飯谷 楨, 飯塚 千乃
 有馬 功, 西郡 修平, 浜中 潤
 金子 卓, 岡崎 博

10:02~10:34 胃2 座長 昭和大学江東豊洲病院 消化器センター 島村 勇人

63. 抗血栓薬内服下における早期胃癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術のセカンドルック内視鏡に関する検討

千葉県がんセンター 消化器内科¹⁾ ○石垣 飛鳥¹⁾, 鈴木 拓人²⁾, 南金山理乃²⁾
 同 内視鏡科²⁾ 北川 善康²⁾, 傳田 忠道¹⁾, 山口 武人¹⁾

64. 化学療法の奏効により逸脱した胃ステントを内視鏡下に抜去し得た症例

国立病院機構埼玉病院 ○江頭 有美, 津和野伸一, 原 彰男
 石塚 裕人, 早津 成夫, 柳 在勲
 藤田 優裕, 田島 康平, 辻 貴之

65. 定期交換の際に診断され、内視鏡的治療手技を用い胃瘻カテーテルの交換が可能となったバンパー埋没症候群の一例

日本大学医学部 内科学系消化器肝臓内科学分野¹⁾ ○大澤 朗太¹⁾, 葉山 讓^{1, 2)}, 大木 庸子^{1, 2)}
公立阿伎留医療センター²⁾ 好士 大介^{2, 3)}, 岡野 憲義^{1, 2)}, 森山 光彦¹⁾
医療法人社団杏順会 越川病院³⁾

66. 食道裂孔ヘルニアに伴う胃軸捻転症に経皮内視鏡的胃壁固定術が有効であった一例

川崎協同病院 消化器内科 ○藤原 敬久, 野本 朋宏

10 : 34~11 : 14 食道・胃 座長 埼玉県立がんセンター 消化器内科 吉井 貴子

67. 胃底腺型胃癌主細胞優位型と早期食道癌を重複した1例

佐々総合病院 外科¹⁾ ○竹内 俊介¹⁾, 浦牛原幸治²⁾, 鈴木 隆文¹⁾
公立昭和病院²⁾ 塩入 利一¹⁾

68. 当院で経験した胃底腺型胃癌についての検討

北里大学病院医学部 消化器内科¹⁾ ○石崎 純郎¹⁾, 和田 拓也¹⁾, 秋谷 昌史²⁾
同 病理学²⁾ 渡邊 晃識¹⁾, 石戸 謙次¹⁾, 東 瑞智¹⁾
同 新世紀開発医療センター³⁾ 堅田 親利¹⁾, 田邊 聡³⁾, 吉田 功²⁾
小泉和三郎¹⁾

69. 右内頸動脈瘤コイル塞栓術後に発症した食道粘膜下血腫の1例

東海大学医学部附属八王子病院 消化器外科 ○横山 大樹, 宇田 周司, 日上 滋雄
和泉 秀樹, 山本壮一郎, 長谷川小百合
吉井 久倫, 町田 隆志, 茅野 新
向井 正哉, 野村 栄治, 幕内 博康

70. 範囲診断に難渋した異時性多発バレット食道癌の一例

慶應義塾大学医学部 一般・消化器外科¹⁾ ○石田 洋樹¹⁾, 中村理恵子¹⁾, 眞柳 修平¹⁾
同 腫瘍センター²⁾ 入野 誠之¹⁾, 福田 和正¹⁾, 和田 則仁¹⁾
川久保博文¹⁾, 落合 康利²⁾, 前畑 忠輝²⁾
矢作 直久²⁾, 北川 雄光¹⁾

71. 内視鏡的に一次止血し得た解離性大動脈瘤による食道穿破の1例

おおたかの森病院 消化器・肝臓内科¹⁾ ○安達 哲史¹⁾, 鳥田 紀朋¹⁾, 神田 仁¹⁾
同 外科²⁾ 佐々 政人²⁾, 田口 泰三²⁾

11:14~11:46 食道 座長 東京医科歯科大学 消化管外科学 星野 明弘

72. 食道癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)後に遅発性穿孔をきたした1例

慶應義塾大学医学部 外科 ○山下 俊樹, 中村理恵子, 川久保博文
真柳 修平, 入野 誠之, 福田 和正
和田 則仁, 北川 雄光

73. Jackhammer食道に対してPOEM施行後早期に内視鏡治療を要した表在型食道癌の1例

慶應義塾大学医学部 一般・消化器外科 ○松井 一晃, 中村理恵子, 真柳 修平
入野 誠之, 福田 和正, 和田 則仁
川久保博文, 北川 雄光

74. 早期食道癌内視鏡治療後狭窄に対して段階的スコープブジーが有効であった一例

NTT東日本関東病院 消化器内科 ○瀧田麻衣子, 大圃 研, 中尾 友美
木本 義明, 石井 鈴人, 小西 隆文
神田 圭輔, 小川さや香, 根岸 良充
港 洋平, 酒井 英嗣, 村元 喬
松橋 信行

75. 食道癌術後 挙上胃管の捻転狭窄に対するトラブルシューティング

-一時的SEMS留置が奏功した1例-

杏林大学医学部附属病院 消化器・一般外科 ○川口 翔平, 竹内 弘久, 井手麻友美
本多 五奉, 鶴見 賢直, 橋本 佳和
大木亜津子, 長尾 玄, 阪本 良弘
須並 英二, 正木 忠彦, 森 俊幸
阿部 展次

14:00~14:40 胆道・膵臓 座長 日本医科大学付属病院 消化器・肝臓内科 金子 恵子

76. 超音波内視鏡下穿刺吸引法 (EUS-FNA) で診断した胆嚢印環細胞癌の1例

筑波大学医学医療系 消化器内科¹⁾ ○杉山雄太郎¹⁾, 石毛 和紀¹⁾, 遠藤 壮登¹⁾
筑波大学附属病院 光学医療診療部²⁾ 長谷川直之¹⁾, 福田 邦明¹⁾, 溝上 裕士²⁾
兵頭一之介¹⁾

77. 経口胆道鏡(SpyGlass DS)を用いて内視鏡的に碎石し得た三管合流部結石の1例

東京西徳洲会病院 消化器内科¹⁾ ○赤瀬 崇嘉^{1, 2)}, 山本 龍一¹⁾, 阿部 敏幸³⁾
所沢肛門病院 外科²⁾ 保坂 祥介⁴⁾, 渡部 和巨⁵⁾
埼玉石心会病院 消化器内科³⁾
千葉西総合病院 消化器内科⁴⁾
東京西徳洲会病院 外科⁵⁾

78. 治療に難渋したERCP関連手技後合併症の検討 -多発膿瘍形成例-

帝京大学ちば総合医療センター 外科¹⁾ ○山崎 将人^{1, 2)}, 藤野 真史¹⁾, 成島 一夫¹⁾
同 光学診療部²⁾ 細川 勇¹⁾, 森 幹人¹⁾, 小杉 千弘¹⁾
首藤 潔彦¹⁾, 清水 宏明¹⁾, 幸田 圭史¹⁾

79. 胆管Expandable Metal Stentsのcoverの有無による比較検討

東海大学医学部附属八王子病院 消化器外科 ○吉井 久倫, 和泉 秀樹, 阿部 凛
上田 恭彦, 町田 隆志, 宇田 周司
茅野 新, 山本壮一郎, 向井 正哉
野村 英治, 幕内 博康

80. EUS-FNAにおける25Gフランシーン型穿刺針の有用性

藤沢市民病院 消化器内科¹⁾ ○土屋 洋省¹⁾, 渋井 俊裕¹⁾, 廣瀬 俊晴¹⁾
横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター²⁾ 長島 周平¹⁾, 宮崎茉莉子¹⁾, 近藤 新平¹⁾
横浜市立大学医学部 消化器内科学³⁾ 稲垣 尚子¹⁾, 安藤 知子¹⁾, 岩瀬 滋¹⁾
三輪 治生²⁾, 前田 慎³⁾

14 : 40~15 : 12 胆道・膵臓・十二指腸 座長 東京医科大学 消化器内科学分野 向井俊太郎

81. 心窩部痛を契機に指摘された十二指腸異所性膵の一例

湘南東部総合病院 ○香月 優亮, 櫻井 嘉彦, 荒井 勝彦

82. 膵周囲液体貯留 (PFC) へ対してLAMS (Lumen apposing metal stent ; HOT Axios) を留置した3症例

栃木県済生会宇都宮病院 外科¹⁾ ○鳥崎友紀子¹⁾, 寺内 寿彰¹⁾, 近藤 里江¹⁾
同 内科²⁾ 櫻井陽奈子²⁾, 山口 雅利¹⁾, 小澤 陽介¹⁾
風當ゆりえ¹⁾, 關 謙太郎²⁾, 鈴木 博史¹⁾
松岡 義¹⁾, 松本 健司¹⁾, 井上 正純¹⁾
笹倉 勇一¹⁾, 森 清人²⁾, 木全 大¹⁾
古川 潤二¹⁾, 尾形 佳郎¹⁾, 小林 健二¹⁾
篠崎 浩治¹⁾

83. 十二指腸カルチノイドをEUSにて粘膜内病変を確認後、under waterにてEMR-Lを施行し完全切除し得た一例

帝京大学医学部附属溝口病院 消化器内科¹⁾ ○綱島 弘道¹⁾, 佐藤浩一郎¹⁾, 恩田 毅¹⁾
同 外科²⁾ 國吉 宣行¹⁾, 梶山はな恵¹⁾, 松本光太郎¹⁾
同 病理診断科³⁾ 関根 一智¹⁾, 辻川 尊之¹⁾, 馬淵 正敏¹⁾
梶山 祐介¹⁾, 土井 晋平¹⁾, 菊池健太郎¹⁾
安田 一朗¹⁾, 神津 慶多²⁾, 内藤 善久²⁾
谷口 桂三²⁾, 山川 達郎²⁾, 阿曾 達也³⁾
高橋美紀子³⁾, 川本 雅司³⁾

84. 2年の経過で広範な膵浸潤とリンパ節転移陽性を呈した神経内分泌癌へ進展した十二指腸腺腫様隆起性病変の1例

川崎市立川崎病院 内科¹⁾ ○久武 祐太¹⁾, 井上健太郎¹⁾, 花田 亮太¹⁾
 同 外科²⁾ 松原 祥平¹⁾, 有泉 健¹⁾, 高木 英恵¹⁾
 同 検査科³⁾ 玉井 博修¹⁾, 三原 規奨²⁾, 市東 昌也²⁾
 同 内視鏡センター⁴⁾ 折笠 英紀³⁾, 杉浦 仁³⁾, 相浦 浩一⁴⁾

15:12~15:44 十二指腸・小腸 座長 杏林大学医学部 第三内科学 三浦 みぎ

85. Bevacizumab投与中に潰瘍形成を来した超低リスク十二指腸GISTの1例

川崎市立川崎病院 内科¹⁾ ○花田 亮太¹⁾, 井上健太郎¹⁾, 松原 祥平¹⁾
 同 外科²⁾ 有泉 健¹⁾, 高木 英恵¹⁾, 玉井 博修¹⁾
 同 検査科³⁾ 菊池 勇次²⁾, 三原 規奨²⁾, 市東 昌也²⁾
 同 内視鏡センター⁴⁾ 折笠 英紀³⁾, 杉浦 仁³⁾, 相浦 浩一⁴⁾

86. 内視鏡的経鼻胆管・膵管ドレナージが有用であった十二指腸傍乳頭憩室穿孔の1例

日野市立病院 外科¹⁾ ○島田 理子¹⁾, 藤田 晃司¹⁾, 北郷 実²⁾
 慶應義塾大学 外科²⁾ 石川 啓一¹⁾, 森 克昭¹⁾, 菊永 裕行¹⁾
 熊井浩一郎¹⁾

87. 原因不明の十二指腸狭窄に対する十二指腸ステント留置術から6か月後に診断し得た十二指腸印鑑細胞癌の1例

水戸済生会総合病院 消化器内科 ○高橋 幸治, 仁平 武, 中川美由貴
 金野 直言, 宗像 紅里, 大川原 健
 青木 洋平, 柏村 浩

88. 大量消化管出血・重症感染症を併発し、診療に難渋した小腸大腸型クローン病の1例

深谷赤十字病院 消化器科¹⁾ ○葛西 豊高¹⁾, 川辺 晃一¹⁾, 江藤 宏幸¹⁾
 同 外科²⁾ 荻野 太郎¹⁾, 村松 誠司¹⁾, 中原 守康¹⁾
 宮原 庸介¹⁾, 石川 文彦²⁾, 新田 宙²⁾
 藤田 昌久²⁾, 釜田 茂幸²⁾, 伊藤 博²⁾

15:44~16:16 小腸 座長 慶應義塾大学医学部 内視鏡センター 牟田口 真

89. 完全寛解から10年後に回腸腫瘤による貧血を契機として再発を確認したびまん性大細胞型B細胞リンパ腫の1例

水戸済生会総合病院 消化器内科 ○高橋 幸治, 仁平 武, 中川美由貴
 金野 直言, 宗像 紅里, 大川原 健
 青木 洋平, 柏村 浩

90. 内視鏡的止血困難と判断した動静脈奇形による小腸出血の一例

湘南鎌倉総合病院 救急総合診療科¹⁾ ○豊田 真帆¹⁾, 佐々木亜希子²⁾, 江頭 秀人²⁾
同 消化器病センター²⁾ 市田 親正²⁾, 田澤 智彦²⁾, 木村かれん²⁾
同 外科³⁾ 西野 敬祥²⁾, 田崎 潤一²⁾, 久米 菜央³⁾
同 病理診断部⁴⁾ 河内 順³⁾, 隅田ちひろ¹⁾, 小野寺俊幸¹⁾
寺根 亜弥¹⁾, 中野秀比古¹⁾, 工藤まどか⁴⁾
手嶋 伸一⁴⁾

91. 留置スネア器具の工夫により細径ダブルバルーン内視鏡で小腸ポリープを阻血治療しえた Peutz-Jeghers症候群の1例

自治医科大学内科学講座 消化器内科学部門 ○森川 昇玲, 坂本 博次, 矢野 智則
所 晋之助, 関谷万理子, 相良 裕一
船山 陽平, 関口 裕美, 山下 晋平
上野 貴, 濱田 嵩史
Khurelbaatal Tsevelnorov, 砂田圭二郎
山本 博徳

92. 内視鏡的整復が不能であった小腸悪性リンパ腫による腸重積の1例

昭和大学江東豊洲病院 消化器センター ○保母 貴宏, 上野 明子, 田邊 万葉
佃 玄紀, 松尾 海, 有馬 秀英
浦上 尚之, 横山 登, 井上 晴洋

一般演題 6/9 (日) 第 4 会場

9:30~10:02 大腸1 座長 国立がん研究センター東病院 消化管内視鏡科 村野 竜朗

93. 16病変の同時性多発大腸癌にて遺伝性大腸癌が疑われた一例

国家公務員共済組合連合会立川病院 外科¹⁾ ○武居 友子¹⁾, 前 ゆうき¹⁾, 矢作 雅史¹⁾
同 病理科²⁾ 猪股 研太¹⁾, 亀山 哲章¹⁾, 秋山 芳伸¹⁾
緒方謙太郎²⁾

94. ESDにより潰瘍性大腸炎関連大腸癌と診断された1例

自治医科大学附属さいたま医療センター 消化器内科 ○吉川 修平, 松本 吏弘, 森野 美奈
小糸 雄大, 賀嶋ひとみ, 三浦 孝也
石井 剛弘, 大竹はるか, 藤原 純一
関根 匡成, 上原 健志, 湯橋 一仁
浅野 岳晴, 宮谷 博幸, 眞嶋 浩聡

95. 深達度診断が困難であった早期癌類似進行直腸癌の一例

慶應義塾大学医学部 外科学(一般・消化器)¹⁾ ○石田 隆¹⁾, 岡林 剛史¹⁾, 落合 康利²⁾
同 腫瘍センター²⁾ 佐々木健人¹⁾, 門野 政義¹⁾, 足立 陽子¹⁾
牧野 暁嗣¹⁾, 松岡 信成¹⁾, 池端 昭慶¹⁾
森田 覚¹⁾, 安藤 知史¹⁾, 岩間 望¹⁾
豊田 尚潔¹⁾, 山高 謙¹⁾, 茂田 浩平¹⁾
鶴田 雅士¹⁾, 前畑 忠輝²⁾, 矢作 直久²⁾
北川 雄光¹⁾

96. 術前診断に難渋した盲腸粘液癌の1例

昭和大学江東豊洲病院 消化器センター ○面高 俊祐, 横山 登, 有馬 秀英
保母 貴宏, 松尾 海, 佃 玄紀
小城原 傑, 徳永 良太, 門坂 啓

10:02~10:34 大腸2 座長 国立病院機構東京医療センター 消化器内科 木下 聡

97. Traineeの大腸内視鏡検査(CS:Colonoscopy)におけるNBI (narrow banding imaging)観察の有用性

千葉市立海浜病院 消化器内科 ○薄井 正俊, 齋藤 博文, 大野 力
田澤 真一, 高城 秀幸, 太和田勝之
野本 裕正, 北 和彦

98. Edwardsiella tarda腸炎の1例

いわき市医療センター 消化器内科 ○草野 昌男, 土佐 正規, 高橋 靖
池田 智之, 高橋 成一, 池谷 伸一
中山 晴夫

99. 直腸に認められた粘膜下腫瘍様の隆起を呈する異所性胃粘膜の1例

日本医科大学武蔵小杉病院 消化器内科¹⁾ ○恩田 毅¹⁾, 網島 弘道²⁾, 佐藤浩一郎²⁾
帝京大学医学部附属溝口病院 消化器内科²⁾ 菊池健太郎²⁾, 土井 晋平²⁾, 高橋美紀子³⁾
同 病理診断科³⁾ 川本 雅司³⁾

100. ミチグリニドカルシウム水和物/ボグリボース配合剤内服中に発症した腸管気腫性嚢胞症の1例

いわき市医療センター 消化器内科 ○草野 昌男, 土佐 正規, 高橋 靖
池田 智之, 高橋 成一, 池谷 伸一
中山 晴夫

10 : 34~11 : 14 大腸3

座長 虎の門病院 消化器科 小田切啓之

101. 大腸アニサキスによる腸閉塞に対して内視鏡的虫体摘出術にて改善を得た一例

東京都立墨東病院 内科 ○松岡 愛菜, 小林 克誠, 大科 枝里
酒井 駿, 松井 裕樹, 土屋 杏平
大倉 幸和, 野坂 崇仁, 松本 太一
古本 洋平, 佐崎なほ子, 堀内 亮郎
浅野 徹, 藤木 和彦

102. 大腸に広範な病変を生じたMALTリンパ腫の1例

東海大学医学部医学科内科学系 消化器内科 ○小玉 敏生, 藤澤 美亜, 佐野 正弥
中原 史雄, 水上 創, 中村 淳
内田 哲史, 松嶋 成志, 鈴木 孝良
峯 徹哉

103. 放射線療法が著効した直腸MALTリンパ腫の一例

順天堂大学 下部消化管外科 ○百瀬 裕隆, 松澤 宏和, 土谷 祐樹
雨宮 浩太, 茂木 俊介, 岡澤 裕
青木 順, 宗像 慎也, 河合 雅也
杉本 起一, 石山 隼, 神山 博彦
高橋 玄, 小島 豊, 奥澤 淳司
富木 裕一, 坂本 一博

104. 内視鏡的静脈瘤硬化療法にて止血し得た盲腸異所性静脈瘤の一例

昭和大学医学部内科学講座 消化器内科学部門 (藤が丘病院) ○宮尾 直樹, 阿曾沼邦央, 遠藤 利行
鈴木 怜佳, 黒木優一郎, 山脇 将貴
松原 大, 松尾 瑤子, 野田 淳
長田 真二, 新谷 文崇, 田淵 晃大
小澁 尚子, 東畑美幸子, 花村祥太郎
山村 詠一, 高野 祐一, 山本 頼正
長濱 正亞

105. 閉塞性大腸癌に対する大腸ステント留置症例の検討

伊勢原協同病院 外科 ○気賀澤 悠, 小泉 亘, 柏木 浩暢
西岡 道人, 壁島 康郎

11:14~11:46 大腸4 座長 埼玉医科大学国際医療センター 消化器内視鏡科 田島 知明

106. 側方リンパ節転移を認めた下部早期直腸癌の1例

慶應義塾大学病院 一般・消化器外科 ○山高 謙, 石田 隆, 岡林 剛史
鶴田 雅士, 茂田 浩平, 安藤 知史
岩間 望, 豊田 尚潔, 池端 昭慶
森田 覚, 北川 雄光

107. 術前診断が困難であった直腸子宮内膜症癌化の1例

慶應義塾大学医学部 一般・消化器外科¹⁾ ○豊田 尚潔¹⁾, 石田 隆¹⁾, 岡林 剛史¹⁾
同 産婦人科²⁾ 鶴田 雅士¹⁾, 茂田 浩平¹⁾, 仲村 勝²⁾
同 腫瘍センター³⁾ 木口 賀之³⁾, 高林 馨³⁾, 鮑元 哲兵³⁾
同 消化器内科⁴⁾ 落合 康利³⁾, 浜本 康夫⁴⁾, 林 雄一郎⁵⁾
同 病理診断部⁵⁾ 亀山 香織⁵⁾, 矢作 直久⁵⁾, 北川 雄光¹⁾

108. 内視鏡的粘膜切除術で切除したInverted growthを呈した早期大腸癌

益子病院 外科¹⁾ ○福島 尚子¹⁾, 佐野 芳史¹⁾, 堤 純¹⁾
がん研有明病院 下部消化管内科²⁾ 高山 澄夫¹⁾, 斎藤 彰一²⁾

109. 大腸憩室出血患者における入院日数の予測因子の検討

国立病院病院機構東京医療センター 消化器科¹⁾ ○和田 道子^{1, 2)}, 西澤 俊宏^{1, 2, 3)}, 加藤 元彦²⁾
慶應義塾大学医学部 消化器内科²⁾ 平井悠一郎¹⁾, 木下 聡¹⁾, 森 英毅¹⁾
国際医療福祉大学三田病院 消化器センター³⁾ 中里 圭宏¹⁾, 藤本 愛¹⁾, 菊池 真大¹⁾
群馬大学大学院医学研究科 消化器・肝臓内科学⁴⁾ 浦岡 俊夫⁴⁾, 金井 隆典²⁾

第109回日本消化器内視鏡学会関東支部例会 ご案内と演題募集のお知らせ

会 長：田邊 聡（北里大学医学部 新世紀医療開発センター）

会 期：2019年12月14日（土）・15日（日）

会 場：シェンバツハ・サポー（〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-5）

主題（シンポジウム、パネルディスカッション、ビデオワークショップ）、

一般演題、研修医セッション、専修医セッション（口演：公募）

消化器内視鏡に関する演題を広く募集いたします。

応募は「本学会および他の学会で未発表」で、「倫理規定に抵触しない」演題に限ります。

口演は全てコンピュータープレゼンテーションです。

演者数につきましては、主題：5名以内、一般演題、研修医セッション、専修医セッション：21名以内としてください。

※演題発表時に医学部卒業後5年以内の研修医（初期研修医）または専修医（後期研修医）が筆頭演者の演題のうち、優れた5演題を選出し表彰いたします。受賞者には奨励金として3万円を贈呈いたします。

さらに、筆頭演者は翌年春の日本消化器内視鏡学会総会へ招待されます。（学会参加費、交通費、宿泊費等は日本消化器内視鏡学会が負担します。）奮ってご応募ください。

演題登録の際、「講演形態」選択肢欄の『研修医』、『専修医』を選択し、登録してください。

シンポジウム

「消化管出血の診断・治療の進歩—現状と課題—」

司会 筑波大学附属病院 消化器内科 溝上 裕士
埼玉医科大学病院 消化管内科 今枝 博之

消化管出血は日常診療においてしばしば遭遇するが、いまだに診断や治療に難渋する例もみられている。併存疾患を有する患者やNSAID、抗血栓薬の服用患者が増加していることにより、薬剤起因性消化管粘膜傷害や大腸憩室出血などが増加している。内視鏡治療の増加により治療後の出血もしばしば散見されている。また、止血法に関してもソフト凝固止血が普及してきており、大腸憩室出血に対するバンド結紮術も認可された。

本シンポジウムでは、静脈瘤出血、非静脈瘤性出血にかかわらず、あらゆる消化管出血（上部、小腸、大腸）を対象に、出血源の診断の進め方や同定が困難な場合の工夫、内視鏡的止血法の選択や手技の工夫、内視鏡的止血法の限界とIVRや外科手術のタイミング、併存疾患や抗血栓薬への対応、出血や再出血の危険因子の検討や再発予防への対策など多方面から発表していただきたい。特に動画を交えた発表も歓迎する。明日からの日常診療に役立つセッションとなることを期待する。

シンポジウム

「日常臨床に役立つ画像強調・拡大観察の進歩」

司会 昭和大学江東豊洲病院 消化器センター 井上 晴洋
国立がん研究センター中央病院 内視鏡科 斎藤 豊

内視鏡観察は従来法の白色光観察の時代から、Image-enhanced Endoscopy (IEE)の時代、さらに超・拡大観察（細胞観察）の時代へと大きく進化している。丹羽、田尻らにより、このIEEは、白色光、画像強調観察（光学法、デジタル法、光デジタル法、色素法）、拡大内視鏡観察（光学法、デジタル法）、顕微内視鏡観察（光学系、共焦点系）、断層イメージング（OCT：Optical Coherence Tomography、超音波内視鏡）などと分類されている。すでに画像強調観察・拡大内視鏡観察は日常臨床で一般化されており、①病変の拾い上げ ②腫瘍・非腫瘍の鑑別 ③癌の深達度診断 ④炎症性疾患の診断など多岐にわたり、新たな工夫や最新の知見など多くの演題を期待したい。市販化された超・拡大内視鏡をはじめとする顕微内視鏡観察、さらに最近では、AI (artificial intelligence)による診断も注目されている。本セッションでは、咽喉頭・食道から、胃、十二指腸、大腸まで広範囲に、“日常臨床に役立つ”観察法、診断法について、活発な討論をお願いしたい。

シンポジウム

「内視鏡診療におけるリスクマネジメントと周術期管理の現状と課題」

司会 東京慈恵会医科大学 内視鏡医学講座 炭山 和毅
東京大学医学部附属病院 光学医療診療部 吉田俊太郎

内視鏡診療の広まりにより、施設の規模や役割に関わらず多くの医療従事者が関わる状況となっている。内視鏡診療では、説明および同意、実際の診療そして診療終了後の患者説明までの一連の流れが重要となるが、それらにおけるリスクマネジメントと周術期管理に焦点を当てた包括的な検討が今まで十分には行なわれてこなかった。具体的には、同意書の書式、検査に必要な問診内容、タイムアウト、検査中のモニタリング、鎮静後の退出基準、症例のリスク評価やハイリスク症例への対応など議論すべき内容は多い。そこで、本シンポジウムでは内視鏡周術期に求められるリスクマネジメント法について広く演題を募集する。特に、リスクマネジメントを効率的に実施するにはチーム連携が重要であり、本シンポジウムには職種を問わず、あらゆるメディカルスタッフに演題登録も含めご参加いただきたいと考えている。

シンポジウム

「胃・大腸内視鏡検診の現状と課題」

司会 東京医科大学 消化器内視鏡学分野 河合 隆
東京がん検診センター 消化器内科 入口 陽介

対策型胃がん検診に、内視鏡検診の有効性が認められて4年が経過した。関東支部内をみると、都は区部を中心に、県では都市部を中心に内視鏡検診の導入が進んでおり、今後も導入を検討している自治体が数多くみられる。

すでに導入した自治体では、さまざまな課題に直面している。安全対策においては、洗浄法やセデーション、偶発症発生時の対応など、精度における課題には、観察撮影法とダブルチェックの施設間・個人間格差、精度向上のために必要な要精検者の資料・追跡調査など、地域の実情によって対策が必要である。また、今後導入を検討している自治体では、自治体担当者との交渉やマンパワーなど地域の特徴を生かしたシステムづくりなどが課題となっている。

一方、大腸がんの死亡率は米国では明らかに減少しているにも関わらず我が国は増加し続け、約2.5倍の人口の米国と死亡数はほぼ同数となっており、早急な対策が必要である。米国では、50歳以上75歳に対して、10年に一度の大腸内視鏡検査あるいは毎年の便潜血検査を受けるように推進し受診率も高い。我が国は、内視鏡検査の単価も安く、技術レベルは高いが、便潜血検査の受診率も低率で、精検受診率も低い。大腸がん検診においても地域の特性を考慮した検診システムの構築、対策が必要である。

そこで、本シンポジウムでは、高齢化が急速に進んでいる我が国の現状を考慮し、安全で精度の高い胃がん・大腸がん内視鏡検診について考えていきたい。

パネルディスカッション

「炎症性腸疾患の診断・治療における内視鏡の役割」

司会 慶應義塾大学医学部 消化器内科 長沼 誠
東京慈恵会医科大学 内科学講座 消化器・肝臓内科 猿田 雅之

炎症性腸疾患診療における内視鏡検査の役割としては、発症時における診断確定、他疾患との鑑別、重症度や罹患範囲の評価、治療効果判定、大腸癌のサーベイランスなど多岐にわたる。内視鏡機器開発に関しては、バルーン小腸内視鏡・カプセル小腸内視鏡の登場により、これまで診断や病勢評価が困難であった小腸病変のアプローチも容易になっている。従来大腸癌の進達度診断などに用いられてきた拡大内視鏡、特殊光内視鏡については、研究レベルではあるが炎症性腸疾患にも用いられている。さらに治療面ではクローン病におけるバルーン拡張術や、潰瘍性大腸炎関連 dysplasia に対する内視鏡的粘膜下層剥離術が行われるようになってきている。

本パネルディスカッションでは、実臨床において内視鏡検査をどのように炎症性腸疾患患者診療に役立てているのか、各施設の取り組みや考えについて発表していただきたい。また臨床的寛解後の予後予測やその方法、粘膜治癒を目指した治療介入の意義、クローン病では術後の経過観察法や治療介入など、近年この分野でトピックスになっている内容についても広く討論したい。

パネルディスカッション

「胆膵領域における EUS の役割－診断から治療まで－」

司会 獨協医科大学医学部 内科学（消化器）講座 入澤 篤志
北里大学医学部 消化器内科 岩井 知久

胆膵領域において EUS の果たす役割は近年ますます大きくなっている。解像度の高さから特に小膵癌においてはその病変描出能が高く、他のモダリティに比べて優れた診断能を有することが報告されているが、病変の存在診断以外にも、腫瘍の周囲臓器への進展の有無や胆道病変の水平進展の評価にも有用性が高い。その他、形態による腫瘍の鑑別や血流評価などを加味し胆嚢ポリープや膵嚢胞性腫瘍に対してスクリーニングから定期的な経過観察まで日常診療で欠かすことのできない役割を果たしている。また胆管結石の存在診断、慢性膵炎の進行度判定、膵胆管合流異常症など良性疾患に対しても汎用されている。一方で、画像診断には限界があり組織診断が必要とされる場面も多い。組織採取においては穿刺針の進歩や検体処理の工夫により診断能が向上しているが、術前の FNA の施行に関しては播種リスクから適応が施設により異なるのが実情である。また、EUS を用いた胆道・膵管ドレナージ、膵嚢胞ドレナージなどは手技の標準化が達成されておらず、今後有用性、安全性に関する検証が必要な領域である。本セッションでは、EUS による画像診断や病理診断の現状、EUS ガイド下治療の成績や工夫を各施設から報告していただき EUS 診療の位置づけを討論する。中小病院、ハイボリュームセンターに関わらず幅広い施設からの応募を期待する。

パネルディスカッション

「*Helicobacter pylori* 未感染・除菌後胃がんの内視鏡診断」

司会 日本医科大学 消化器・肝臓内科／付属病院 内視鏡センター 貝瀬 満
がん研究会有明病院 消化器センター 藤崎 順子

Helicobacter pylori (HP) 感染率は急激に低下し、また HP 陽性胃炎に対する除菌治療が広く普及しており、胃がん発生やその病態に変化が起きつつある。HP 未感染の背景粘膜に生じる胃癌としては、印環細胞癌、胃底腺型胃癌、低異型度分化型腺癌などが知られている。これに加え食道胃接合部腺癌の増加も危惧される。接合部腺癌は進行癌での発見も多くみられ、発見時には噴門部胃癌か SSBE 背景のバレット食道癌由来かが不明のものも多い。一方、除菌後や既感染粘膜に発生する胃癌も増加している。除菌後胃癌では癌の表層分化や非腫瘍上皮の被覆によって胃炎様所見を呈することが報告され、また地図状発赤などの存在でその診断が困難なことも多い。また、除菌後に経過観察されずに進行胃癌で発見されこともあり、除菌後にはどのような症例をどの程度の間隔で内視鏡観察すべきなのか、残された課題である。今後の時代の胃癌を考えるうえで、食道胃接合部腺癌も含めた HP 未感染・除菌後胃癌の内視鏡診断に関する発表を広く募り、明日からの内視鏡診療に資する情報を発信していきたい。

ビデオワークショップ

「安全・確実な消化管腫瘍に対する内視鏡治療を極める－手技・デバイスの工夫－」

司会 群馬大学大学院医学系研究科 内科学講座 消化器・肝臓内科学分野 浦岡 俊夫
昭和大学藤が丘病院 消化器内科 山本 頼正

消化管腫瘍に対する内視鏡治療は、その低侵襲性から広く普及し、標準的治療法の一つとして確立されている。しかしながら、ときに偶発症などの有害事象により、その低侵襲性が損なわれる症例も発生するため、安全・確実に内視鏡治療を行うことが重要である。

内視鏡治療法は主に内視鏡的粘膜切除術 (EMR) と内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD) に分けられるが、最近では臓器により EMR を応用した underwater-EMR や cold snare polypectomy などの手技が行われており、また ESD では、切除デバイスやトラクション法の改良、様々な切除後潰瘍の縫縮法等の工夫も行われている。

本ビデオワークショップでは、全消化管腫瘍を対象に、標準的な手技から高難易度の手技まで安全・確実な内視鏡治療を実施するための幅広い工夫に関する演題を募集する。

手技やデバイスの工夫を動画で提示していただき、内視鏡治療の安全・確実性がどのように改善したのか、安全面からの手技の限界やさらなる課題など、具体的な発表を期待している。

ビデオワークショップ

「安全・確実な胆膵内視鏡治療を極める－手技・デバイスの工夫－」

司会 東京医科大学 消化器内科 糸井 隆夫
順天堂大学医学部附属順天堂医院 消化器内科 伊佐山浩通

ERCP や EUS を用いた胆膵内視鏡治療は外科的治療や経皮経肝的治療に比べて低侵襲であることから、現在では胆膵疾患の治療におけるゴールドスタンダードに位置づけられている。ERCP は十二指腸乳頭・副乳頭から胆管膵管に深部挿管ができて初めて治療へのアクセスが可能となるが、深部挿管は必ずしも容易ではなく、時に術後重症急性膵炎という深刻な偶発症を発症する危険性もある。こうした ERCP 関連手技を安全で確実に行うためには、実臨床においては用いるデバイスも含め多くのコツがある。一方、治療的 EUS は ERCP に比べると開発後の歴史が浅い手技ではあるものの、治療的 ERCP 困難例を中心に近年広く普及している。しかし、未だ手技は十分に確立されているとはいえ、専用デバイス開発も十分ではない。本ワークショップでは安全で確実な ERCP および EUS 関連治療手技を目指した各施設でのコツや新しいアイデア、デバイスの工夫等を動画で供覧していただきたい。多数の応募を期待する。

ビデオワークショップ

「上部、下部消化管内視鏡検査を極める－確実な診断に向けての工夫－」

司会 北里大学医学部 新世紀医療開発センター 小林 清典
国立がん研究センター中央病院 内視鏡科 小田 一郎

内視鏡検査は、上部、下部消化管の腫瘍性病変、非腫瘍性病変ともに、それらに対する種々の検査法のなかでも、近年欠かすことのできない一つになっている。また、胃がん内視鏡検診の導入、早期発見・低侵襲治療が求められている高齢化社会の到来などの時代的背景において、内視鏡検査の果たす役割は、ますます重要となってきている。一方、消化管腫瘍に対する内視鏡診断は、存在診断に始まり、病変を発見した場合は、治療方針を決定するため、質的診断、量的診断を進めて行くが、内視鏡機器の進歩などにより、これらの診断能は向上してきた。非腫瘍性病変では、例えば炎症性腸疾患（IBD）に対して、診断のみならず粘膜治癒の評価やサーベイランスでの colitis-associated cancer/dysplasia の診断に内視鏡検査が果たす役割は大きく、拡大内視鏡観察や画像強調観察も活用されている。しかし、各臓器、各疾患において、内視鏡診断精度のさらなる向上や、内視鏡診断能の均てん化、トレーニングの標準化などが求められている。

本ビデオワークショップでは、消化管腫瘍性病変から非腫瘍性病変まで、確実な診断に向けた、上部、下部消化管内視鏡検査を極めるための取り組みを幅広く募集する。

特別講演

静岡県立静岡がんセンター 内視鏡科 小野 裕之

症例検討セッション

「胆膵」

司会 埼玉医科大学国際医療センター 消化器内科 良沢 昭銘
横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター 杉森 一哉

消化器疾患の中でも胆膵疾患では、US、CT、MRI、EUS などの多岐にわたる画像検査を元に総合的に診断を行う必要があり、またその過程において、EUS-FNA や ERCP 下の生検・細胞診、ドレナージ治療など、侵襲を伴う処置を必要とする場合があります。

本セッションでは、実際に診断および治療選択に苦慮した症例、治療に難渋した症例を提示していただき、診断から治療に至る一連のプロセスをコメンテーターの先生方や会場の先生方と一緒に討議したいと考えております。明日からの臨床に役立つような意義の高い症例検討セッションにしたいと思っておりますので、皆様の積極的な参加と活発な討論を期待しています。

「大腸」

司会 北里大学医学部 消化器内科学 佐田 美和
東邦大学医療センター佐倉病院 消化器内科 松岡 克善

本セッションでは、大腸腫瘍症例 1 題および炎症性腸疾患症例 1 題について内視鏡所見を呈示し、診断プロセスから治療方針に至るまでを参加者の先生方と一緒に議論し、今後の診療に役立つものになりたいと考えています。

大腸腫瘍の症例においては通常内視鏡および拡大内視鏡所見を呈示し、内視鏡診断の考え方や治療方針について、また炎症性腸疾患の症例においては内視鏡所見から診断および鑑別疾患、活動性の評価、治療方針などを中心に、参加者の先生方と一緒に議論していきたいと考えております。経験豊富なコメンテーターの先生方、病理の先生による症例解説も予定しております。

併せて当日は炎症性腸疾患のエキスパートの先生によるミニレクチャーも予定しております。若い先生方をはじめ、多くの先生方のご参加をお待ちしております。

「十二指腸・小腸」

司会 自治医科大学 内科学講座 山本 博徳
虎の門病院 消化器内科 布袋屋 修

近年の超高齢化社会、食生活の欧米化、内視鏡検診の普及や機器の発展、*H. Pylori* 感染率の低下などによって、我々が対峙しなくてはならない消化管病変はますます多様化してきました。通常のスクリーニング検査においては十二指腸病変に遭遇する機会は確実に増え、また、OGIB(Obscure Gastro-intestinal Bleeding)や腫瘍性病変の精査ためのカプセル内視鏡、バルーン内視鏡も積極的に行われるようになり、病変発見率も高くなってきました。しかし、一旦これらの十二指腸・小腸病変を発見しても、食道・胃・大腸病変のような確立された内視鏡診断学が確立されていないため、その対応に戸惑うケースもまれではないと思います。本セッションでは、十二指腸・小腸病変の症例を紹介し、その診断・治療戦略についてコメンテーターの先生方とともに、会場の若手からエキスパートの先生方まで一緒に討論し、今後の診療に役立つ検討をしたいと考えています。多くの会員の皆様のご参加と活発な討議をお待ちしております。

「食道・胃」

司会 埼玉県立がんセンター 内視鏡科 有馬 美和子
日本大学医学部内科学系 消化器肝臓内科学分野 後藤田 卓志

上部消化管粘膜の観察において、存在診断から質的診断、量的診断の流れは基本中の基本である。まずは通常観察で異常所見を見つけることが重要である。その上で、質的診断や量的診断を行う。近年では、画像強調内視鏡の普及に伴い病変の深達度、組織型診断に迫る情報が得られるようになりつつある。一方、拡大観察を含めた詳細な診断は、専門家だけの議論になりがちなのも実情であり、初学者や内視鏡専門以外の医師にも通じるような診断学の普及も急務である。

本セッションでは、食道病変、胃病変を1例ずつ取り上げる。存在診断から質的診断、量的診断について、若手からベテランの先生まで広くご参加いただき活発な討論をお願いしたい。

ハンズオントレーニングセッション

「EUS-FNA」

総合司会 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 消化器内科 松田 浩二

「下部挿入法」

総合司会 東海大学医学部内科学系 消化器内科 鈴木 孝良

「上部 ESD」

総合司会 国立がん研究センター 東病院 消化管内視鏡科 矢野 友規

「下部 ESD」

総合司会 NTT 東日本関東病院 内視鏡部 大圃 研

演題募集期間：2019年6月5日（水）～2019年8月21日（水）正午
オンライン（UMIN）による申込みのみにて募集いたします。
詳しい演題募集要項は関東支部例会ホームページ
（<http://www.jges-k.umin.jp/>）をご参照ください。
※郵送、E-mail による演題の受付はいたしません。

注 意 事 項：抄録作成に際しては「消化器内視鏡用語集」を参照し、適切な用語を用いてください。
（適切な用語を用いることは発表者の責務になります。）

事 務 局：北里大学医学部 消化器内科学
事務局長 東 瑞智
〒252-0374 神奈川県相模原市南区北里 1-15-1

演題登録に関してのご質問・お問い合わせ先：
第109回日本消化器内視鏡学会関東支部例会 運営事務局
株式会社プランニングウィル内
〒113-0033 東京都文京区本郷 4-1-5 石渡ビル 6F
Tel: 03-6801-8084 Fax: 03-6801-8094
E-mail: 109kanto-jges@pw-co.jp

第 38 回 日本消化器内視鏡学会 関東セミナーのご案内

(主催：関東支部)

第 38 回日本消化器内視鏡学会関東セミナーを下記の要領で開催いたします。
支部セミナーの受講は専門医の新規申請および更新に際して、必須となっております。
多くの先生方のご参加をお待ちしております。
(このセミナーは、指導医更新の際の必須セミナーではありませんので、ご注意ください。)

会 長：松崎 靖司 (東京医科大学茨城医療センター 消化器内科)
(会長代行：岩本 淳一 (東京医科大学茨城医療センター 消化器内科・内視鏡センター))

会 期：2019 年 7 月 21 日 (日)

会 場：幕張メッセ 国際会議場
〒261-8550 千葉県千葉市美浜区中瀬 2-1 TEL 043-296-0001 (代)

テ ー マ：患者目線を目指した消化器内視鏡診療の最前線

定 員：1,100 名

対 象 者：日本消化器内視鏡学会専門医、希望する会員・その他

受 講 料：日本消化器内視鏡学会会員 10,000 円 非会員 15,000 円
受講料の払い込み方法は、仮登録の自動返信メールにてご連絡申し上げます。
受講料振込をもって登録完了とさせていただきます。

一度お振り込みいただいた受講料は返金できません。受講セミナーを他支部より変更されて受講される場合も、受講料の振替はできませんのでご注意ください。

応 募 要 領：受講希望者は日本消化器内視鏡学会ホームページの登録フォームよりお申し込みください。

先着順に受講者を決定いたします。

託児サービス：受付締切：2019 年 7 月 5 日(金)17:00 定員になり次第受付を終了いたします。

詳細は日本消化器内視鏡学会のホームページでご確認ください。

【受付に関する問い合わせ先】

日本消化器内視鏡学会関東セミナー受付係
(株) コンベンションアカデミア内 担当：丹沢、佐々木
〒113-0033 東京都文京区本郷 3-35-3 本郷 UC ビル 4 階
TEL：03-5844-6700 FAX：03-3815-2028
(電話受付時間：平日 9:30～18:00)
E-mail：kanto-seminar@coac.co.jp

【セミナーに関する問い合わせ先】

第 38 回日本消化器内視鏡学会関東セミナー運営事務局
(株) サンプラネット メディカルコンベンション事業部 担当：中屋
〒112-0012 東京都文京区大塚 3-5-10 住友成泉小石川ビル 6 階
TEL：03-5940-2614 FAX：03-3942-6396
E-mail：jgesk38@sunpla-mcv.com

【託児室に関するお問合せ先】

(株) アルファコーポレーション
公益社団法人 全国保育サービス協会 (ACSA) 正会員
〒107-6013 東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル 13F
TEL：03-5797-7121 FAX：03-5797-7122
E-mail：event_e@alpha-co.com

第 38 回日本消化器内視鏡学会関東セミナー プログラム（敬称略）

時間	演題名	講師氏名・所属	司会者氏名・所属
8:55	開会挨拶		
9:00	第 38 回日本消化器内視鏡学会関東セミナー会長 故 松崎 靖司先生へ感謝を込めて 日本消化器内視鏡学会の次世代に贈るメッセージ	田尻 久雄 (日本消化器内視鏡学会 理事長)	河合 隆 (東京医科大学 消化器内視鏡学)
9:10	食道・胃静脈瘤の病態と治療	國分 茂博 (新百合ヶ丘総合病院 肝疾患低侵襲治療センター/内視鏡センター)	溝上 裕士 (筑波大学 医学医療系 消化器内科)
9:55	早期胃癌内視鏡診断の基本と分類	松本 健史 (順天堂大学医学部 消化器内科)	永尾 重昭 (防衛医科大学校 光学医療診療部)
10:40	休憩		
10:50	早期胃癌に対する内視鏡治療の基本と応用—リスクマネジメントも含めて— 共催：オリンパスメディカルサイエンス販売（株）	阿部 清一郎 (国立がん研究センター中央病院 内視鏡科)	藤城 光弘 (名古屋大学大学院医学研究科 病態内科学講座（消化器内科学分野）)
11:35	全国統合内視鏡診療データベース JED プロジェクトの概要と今後の展開 —新専門医制度への対策も含めて—	田中 聖人 (京都第二赤十字病院 消化器内科)	木田 光広 (北里大学医学部 消化器内科)
12:05	休憩		
12:25	ランチョンセミナー 潰瘍性大腸炎治療戦略（仮） 共催：武田薬品工業株式会社	中村 志郎 (兵庫医科大学 炎症性腸疾患学講座内科学部門)	河合 隆 (東京医科大学 消化器内視鏡学)
13:15	休憩		
13:25	ERCP による胆膵疾患の診断～治療	伊佐山 浩通 (順天堂大学医学部 消化器内科学講座)	山口 武人 (千葉県がんセンター)
14:10	EUS の診断から治療へ	糸井 隆夫 (東京医科大学 消化器内科)	良沢 昭銘 (埼玉医科大学国際医療センター 消化器内科（消化器内視鏡科）)
14:55	小腸内視鏡診断の基本 ～OGIB を中心に～ 共催：富士フイルムメディカル株式会社	矢野 智則 (自治医科大学内科学講座 消化器内科学部門)	砂田 圭二郎 (自治医科大学内科学講座 消化器内科学部門)
15:40	休憩		
15:50	IBD の内視鏡診断 ～鑑別診断からサーベイランスまで～	大塚 和朗 (東京医科歯科大学 消化器内科（光学医療診療部）)	岩男 泰 (慶應義塾大学病院 予防医療センター)
16:35	大腸内視鏡診断から治療まで ～JNET 分類を用いた内視鏡診断から 治療ストラテジー～	浦岡 俊夫 (群馬大学大学院医学系研究科 内科学講座 消化器・肝臓内科学)	斎藤 豊 (国立がん研究センター中央病院 内視鏡センター)
17:20	閉会挨拶		

【プログラム委員】（敬称略，50 音順）

岩男 泰、河合 隆、木田光広、斎藤 豊、砂田圭二郎、永尾重昭、藤城光弘、溝上裕士、山口武人、良沢昭銘

第 39 回 日本消化器内視鏡学会 関東セミナーのご案内

(主催：関東支部)

第 39 回日本消化器内視鏡学会関東セミナーを下記の要領で開催いたします。
支部セミナーの受講は専門医の申請および更新に際して、必須となっております。
多くの先生方のご参加をお待ちしております。
(このセミナーは、指導医更新の際の必須セミナーではありませんのでご注意ください。)

会 長：森山 光彦 (日本大学 消化器肝臓内科)

会 期：2020 年 1 月 19 日 (日)

会 場：埼玉会館 (さいたま市)

〒330-8518 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-1-4 電話 048-829-2471 (代)

定 員：1,000 名

対 象 者：日本消化器内視鏡学会専門医、希望する会員・その他

受 講 料：日本消化器内視鏡学会会員 10,000 円 非会員 15,000 円

受講料の払い込み方法は、仮登録の自動返信メールにてご連絡申し上げます。

受講料振込をもって登録完了とさせていただきます。

一度お振り込み頂いた受講料は返金できません。受講セミナーを他支部より変更されて受講される場合も、受講料の振替はできませんのでご注意ください。

応募要領：応募受付は、2019 年 8 月 21 日(水曜日) 正午 より開始いたします。

先着順に受講者を決定いたします。

受講希望者は日本消化器内視鏡学会ホームページの登録フォームよりお申し込み下さい。

詳細は日本消化器内視鏡学会ホームページでご確認下さい。

【応募先／受講に関するお問い合わせ先】

日本消化器内視鏡学会 関東セミナー受付係
株式会社コンベンションアカデミア内

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-35-3 本郷 UC ビル 4 階

担当：丹沢

TEL：03-5844-6700 FAX：03-3815-2028

(電話受付時間：平日 9：30～18：00)

E-mail：kanto-seminar@coac.co.jp

【セミナーに関する問い合わせ先】

第 39 回日本消化器内視鏡学会関東セミナー運営事務局

日本コンベンションサービス株式会社 コンベンション事業部 メディカル部

担当：近藤 正伸

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1-4-2 大同生命霞が関ビル 14 階

TEL：03-3508-1214 FAX：03-3508-1302

Email：39kanto_seminar@convention.co.jp

日本消化器内視鏡学会関東支部機関誌 『Progress of Digestive Endoscopy』について

ご購読のお願い

Progress of Digestive Endoscopy は日本消化器内視鏡学会関東支部の機関誌であり、関東支部例会予報集および論文集を年2冊ずつ発行しております。会則等の関係から関東支部全会員にご購読頂くことが実現できず、現在は有志の方にご購読頂いております。

論文集は関東支部例会の研修医、専修医、一般演題の発表を中心に論文が掲載され、消化器内視鏡を志す若手の登竜門となっております。

関東支部の各分野を代表する編集委員、査読委員が査読を行い、さらなる質の向上に取り組んでおりますので、ご購読下さるようお願い申し上げます。

本誌は J-STAGE に登録されており、全国の先生方が掲載論文を閲覧できます（雑誌発行後1年間の本文閲覧は Progress of Digestive Endoscopy 購読会員に限られます）。

なお、本誌購読は関東支部評議員の選出条件の1つになっています。

お申し込みは関東支部のホームページ(<http://www.jges-k.umin.jp/>)をご参照下さい。

関東支部以外の会員も購読可能ですので、多くの方のお申し込みをお待ちしております。

【購読申込みに関する問い合わせ先】

日本消化器内視鏡学会関東支部 庶務係 西野

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1 国立がん研究センター中央病院 内視鏡科

TEL 03-3542-2511 (内線 2018) FAX 03-3542-3815

Email : jgeskanto@nifty.com

論文投稿について

Progress of Digestive Endoscopy は投稿論文を随時受け付けております（論文の採否は編集委員会で決定致します。）。

投稿はオンライン投稿となります。投稿に先立ち、必要書類を関東支部ホームページの「Progress of Digestive Endoscopy」の「投稿規定」のページよりダウンロードしてお使い下さい。投稿は Progress of Digestive Endoscopy 購読会員に限られますのでご留意下さい。

【論文投稿に関する問い合わせ先】

(株) 杏林舎「Progress of Digestive Endoscopy」編集室

〒114-0024 東京都北区西ヶ原 3-46-10

TEL 03-3910-4311

Email : pde_edit@kyorin.co.jp

JEDブースに関するお知らせ

第108回 関東支部例会にご参加の皆様

平素は日本消化器内視鏡学会ならびに関東支部の活動にご協力を賜り誠にありがとうございます。

JEDの対応について、個別の説明のご要望を多くいただき、すべての支部例会、総会においてJED相談ブースを設置することになりました。

6月8日、9日に開催されます関東支部例会におきましても、下記日程にてJED相談ブースを設置させていただきます。

JED導入に関する、ご心配、疑問などについて、ご対応できればと存じます。是非お立ち寄りください。

設置日：6月8日、9日

設置時間：10時～セッション終了時間前後（未定）

設置場所：学会参加受付の近く

JEDプロジェクト委員長
田中 聖人

